

点 検 記 録 表 (案)

扉体形式 : ローラゲート

開閉装置形式 : ワイヤロープウインチ式

設備区分： レベル I
稼働形態： 待機系設備

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート		扉体				
設備に要求される機能		点検・整備		点 検 *3				判定	備考	
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上影響度に対する項目	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期			
					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合
								基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎	
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。	
			ごみ，流木，土砂等	前	E	E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。	
		外観	変形，損傷	前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。	
	b	塗装	損傷	前		E		E	損傷がないこと。	
			劣化	前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。	
扉体	a	構造全体	振動	中	H	H		M	異常振動がないこと。	
			異常音	中	S	S		S	異常音がないこと。	
			片吊り	前		E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。	
	○	スキンプレート	変形	前		E		E	変形がないこと。	
			損傷	前	E	E		E	損傷がないこと。	
			板厚の減少	前				M	測定結果により判定のこと。	
			腐食(孔食)	前		E	E		E	腐食(孔食)がないこと。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート				扉体					
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 機 能 上 影 響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判定方法
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。		
	○	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地) (洪)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
	○	b	リベット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地) (洪)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		ローラゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
支 承 部	○	a	主ローラ，軸， 軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	回転すること。		
	○	b	補助ローラ，軸， 軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	回転すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能												
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合
判定方法	判定	備考										
扉体付 シーブ	○	シーブ，シーブ軸， 軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
			給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
			回転状況		中	D	D		D	回転すること。		
水密部	b	水密ゴム	変形		前		E		E	変形がないこと。		
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			劣化		前		E		E	劣化がないこと。		
			漏水		有水		E		E	機能に支障がないこと。		
	b	ゴム押え板	変形		前		E		E	変形がないこと。		
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		ローラゲート		扉体						
設備に要求される機能												
装置区分	点検・整備		点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期				不 定 期	
							管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合
給油装置	b	給油ポンプ	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			作動状況		前		D		D	適正な圧力が発生すること。		
			油量		前		E		E	適量で乳白色化していないこと。		
	b	給油配管	変形		前		E		E	変形がないこと。		
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			漏油		前		E		E	漏油がないこと。		
	b	分配弁	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			作動状況		前		D		D	作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート		戸当り							
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考			
	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する			項目	内容	管理 運転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	判定方法
全般	b	清掃状態	汚れ	前	E	E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E	E	(洪)	E	戸溝内にごみ，流木，土砂等がないこと。				
	a	外観	変形，損傷	前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前		E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
取外し戸当り	b	主ローラレール	変形	前		E	(地)	E	変形がないこと。				
			損傷	前		E	(地)	E	損傷がないこと。				
			腐食(孔食)	前		E		E	腐食(孔食)がないこと。				
			溶接部の割れ	前		E	(地)	E	割れがないこと。				
	b	補助ローラレール	変形	前		E	(地)	E	変形がないこと。				
			損傷	前		E	(地)	E	損傷がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		ローラゲート				戸当り				
設備に要求される機能												
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合
判定方法	判定	備考										
取外し戸当り	b	補助ローラレール	腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
			溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。		
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
埋設部	b	底部戸当り	変形		無水		E		E	変形がないこと。		
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。		
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
			溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		ローラゲート				戸当り					
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法
埋 設 部	b	側部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
	b	上部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水		E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法
全 般		c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
		b	外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
構 造 体		b	構造全体	振動		中		H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中		S		S	異常音がないこと。		
	○	b	フレーム	たわみ		前		E	(地)	E	たわみがないこと。		
		a		変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
	b	腐食（孔食）			前		E		E	腐食（孔食）がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能上 影 響 度 合 対 する					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
動力部	○	主電動機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇	○	中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。			
			電流値	○	中		M	(雷)	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。	管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。		
			電圧値	○	中		M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。	管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。		
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。			
			内部状態		休				W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。			
	○	予備電動機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇	○	中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。			
			電流値	○	中		M	(雷)	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。	管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。		
			電圧値	○	中		M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。	管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。		
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。			
			内部状態		休				W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置								
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考			
装置区分	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期		
							管理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎				
動力部	b	内燃機関	始動性		前	D	D		D	円滑に始動できること。		
			振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
			漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
			燃料油量		前	E	E		E	油面計の規定内であること。		
			燃料劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
			冷却水量		前		E		E	規定内の量であること。		
			冷却水劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
			潤滑油量		前	E	E		E	油量計の規定内であること。		
			潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
			エレメント目づまり(汚れ)		前		E		E	目づまり，ひどい汚れがないこと。		
			Vベルトゆるみ		前		H	(地)	H	適正な張りがあること。		
			Vベルト損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
			排気管損傷		前		E	(地)	E	断熱材，配管に損傷がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置											
設備に要求される機能		点検		*3		*8									
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考		
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合					
														基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎
動力部		b	内燃機関	バッテリー液量		前		E		M	液量が規定内であること。				
		b		バッテリー比重		前		M		M	比重が規定内であること。				
		b		内部状態		休					W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。			
制動部	○	a	電磁制動機 電動油圧押し式 制動機	作動状況		中		D		D	確実に作動し，瞬時に停止すること。				
		b		ライニングのすきま	○	休		M	(地)	M	適正なすきまが確保されていること。				
		b		ライニングの摩耗	○	休		M		M	異常な摩耗，偏摩耗がないこと。				
		a		ドラムの損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。				
		a		制動部の清掃状態		前		E		E	E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。			
		a		漏油		前		E		E	(地)	E	漏油がないこと。		
		a		絶縁油量		前		E		E		E	油面計の規定内であること。		
		a		絶縁油劣化		前		E		E		E	ひどい濁りがなく，乳白色化していないこと。		
		a		絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M		M	絶縁抵抗計にて測定を行い，1MΩ以上あること。		
		a		内部状態		休						W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する	項目	内容	*4 トレンド 管理	*5 点検 条件	定期			不定期			
							管理 運転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
減速装置	○	a	減速機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
				潤滑油量		前		E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休				W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		
	○	a	ドラムギヤ ピニオン 中間ギヤ	異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
				歯面の損傷	○	前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
				歯当り	○	中		M		M	適正な当りがあること。		
				バックラッシュ	○	中		M		M	適正な範囲の数値であること。		
				給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
動力伝達部	○	a	切換装置	作動状況		中	D	D		D	スムーズに切換えられること。		
				振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
				潤滑油量		前		E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休				W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		
	b	手動装置	作動状況		中	D	D		D	スムーズに切換えられ，手動操作が行えること。			
			振動		中		H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中		S		S	異常音がないこと。			
			漏油		前		E	(地)	E	漏油がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3				*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			*6 臨 時	総 合	判定方法	
							管 理 運 転						年 点 検
							基本周期 1ヶ月毎						基本周期 1年毎
動力伝達部	○	b	手動装置	潤滑油量		前		E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休				W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
	○	a	連動軸	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
				損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	軸受	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				芯振れ	○	中				M	異常な芯振れがないこと。		
				給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		b		摩耗		休		E		M	摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 影響度に対する					管理 運転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
動力伝達部	○	a	たわみ軸継手 (歯車形軸継手) (ローラチェーン 軸継手)	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
		b		芯振れ	○	中				M	異常な芯振れがないこと。		
		b		給油状態		休		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		内部状態		休				W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		
扉体駆動部	○	a	ドラム	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		摩耗		休		E		M	ロープ溝部に異常な摩耗がないこと。		
	○	a	ドラム軸	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
○	a	ドラムロープ端末	ゆるみ，脱落		前		E	(地)	E	ゆるみ，脱落がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3				*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			*6 臨 時	総 合	判定方法	
							管理 運 転						年 点 検
							基本周期 1ヶ月毎						基本周期 1年毎
扉 体 駆 動 部	○	b	シーブ，軸，軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食（孔食）		前		E		E	腐食（孔食）がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	正常に回転すること。		
	○	b	ワイヤロープ	ごみ，異物の付着		前		E	(洪)	E	ごみ，砂塵等がロープに付着していないこと。		
		a		変形		前	E	E	(地) (洪)	E	線の不規則な飛出し，部分的な籠状，キンク等がないこと。		
		b		発錆		前		E		E	発錆がないこと。		
		a		摩耗	○	休		M		M	異常な摩耗がないこと。		
		a		素線切れ	○	前		E	(地) (洪)	E	異常な素線切れがないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		内部状態		休				M	内部に腐食，断線がなく，著しい強度低下がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 影響度に対する					管理 運転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
保護装置	○	a	ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット		前	E	E	(地)	E	ゆるみがないこと。		
		a		ソケット		前		E	(地)	E	割りピンがはずれていないこと。		
		b		ロープ長さ		前		E	(地)	E	閉時にロープのゆるみが、左右同一であること。		
		b		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
	○	a	制限開閉器 (カウンタ式) (遊星歯車式)	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	直動形 リミットスイッチ	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
休止装置	○	a	休止装置	作動状況		中		D		D	休止操作が円滑に行えること。		
		c		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能に 影響度 に対する					管理 運転	年点 検					
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
開度計	b	機械式	作動状況		中		D		D	実揚程と指針表示が合致していること。			
	c		盤面の曇り		前		E		E	表示窓が透明で、視認に支障がないこと。			
給油装置	b	給油ポンプ	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
	b		作動状況		前		D		D	適正な圧力が発生すること。			
	b		油量		前		E		E	適量で乳白色化していないこと。			
	b	給油配管	変形		前		E		E	変形がないこと。			
	b		損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
	b		漏油		前		E		E	漏油がないこと。			
	b	分配弁	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
	b		作動状況		前		D		D	作動すること。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名				機側操作盤									
設備に要求される機能				点 検 *3								*8	
装置区分	点検・整備			内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影 響 能 度 合 計	項 目				管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
全 般	b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E	E		E	ひどい汚れ，ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ，腐食がないこと。			
			破損		前	E	E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。			
			塗装状況		前		E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
			内部温度・湿度状態		前		E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。			
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い，1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ		前		E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
			変色		前		E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
			端子のゆるみ		断		E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。			
			異常音		中		S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。			
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前		E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が，±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能		点 検 *3										*8 判定	備考
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法		
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
リレー類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D	D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
スイッチ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはP L Cの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名						機側操作盤						
設備に要求される機能												
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			
							管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合
						基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。	
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。	
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前		D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。	
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。	
表示灯		b	表示灯	ランプテスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。	
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前		D	(地) (雷)	D	点灯すること。	
指示計		b	開度指示計	指示		中		D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。	
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。	
		異常音			前	S	D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。		
		接点			前		D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。		
		b	漏電継電器	作動テスト		中		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。	

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
	b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
	c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他	b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管	b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

設備区分： レベル I
稼働形態： 常用系設備

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E		E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。				
		外観	変形，損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
扉体	a	構造全体	振動	中	H		H		M	異常振動がないこと。				
			異常音	中	S		S		S	異常音がないこと。				
			片吊り	前			E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。				
	○	スキンプレート	変形	前			E		E	変形がないこと。				
			損傷	前	E		E		E	損傷がないこと。				
			板厚の減少	前					M	測定結果により判定のこと。				
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド 管理	*5 点検 条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉体	○	a	主桁, 補助桁	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前					M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。		
		b	ボルト, ナット	ゆるみ, 脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ, 脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b	リベット	ゆるみ, 脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ, 脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
b		腐食(孔食)			前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
支 承 部	○	a	主ローラ，軸， 軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	回転すること。		
	○	b	補助ローラ，軸， 軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E		E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	回転すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考	
	*1 重要機器	*2 影機能に 対する 影響度合					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉体付 シーブ	○	b	シーブ，シーブ軸， 軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前				E		E	腐食(孔食)がないこと。	
		a		給油状態		前				E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。	
		a		回転状況		中	D			D		D	回転すること。	
水密部		b	水密ゴム	変形		前			E		E	変形がないこと。		
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前				E		E	劣化がないこと。	
		b		漏水		有水				E		E	機能に支障がないこと。	
		b	ゴム押え板	変形		前				E		E	変形がないこと。	
		b		損傷		前				E		E	損傷がないこと。	

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 対 合 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				判 定 方 法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
給油装置	b	給油ポンプ	損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			作動状況		前			D		D	適正な圧力が発生すること。			
			油量		前			E		E	適量で乳白色化していないこと。			
	b	給油配管	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			漏油		前			E		E	漏油がないこと。			
	b	分配弁	損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			作動状況		前			D		D	作動すること。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	b	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。				
			ごみ, 流木, 土砂等	前	E		E	(洪)	E	戸溝内にごみ, 流木, 土砂等がないこと。				
	a	外観	変形, 損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷, 変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆, ふくれ, 亀裂, はく離, 変退色, 白亜化がないこと。				
取外し戸当り	b	主ローラレール	変形	前			E	(地)	E	変形がないこと。				
			損傷	前			E	(地)	E	損傷がないこと。				
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。				
			溶接部の割れ	前			E	(地)	E	割れがないこと。				
	b	補助ローラレール	変形	前			E	(地)	E	変形がないこと。				
			損傷	前			E	(地)	E	損傷がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
取 外 し 戸 当 り	b	補助ローラレール	腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。			
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
埋 設 部	b	底部戸当り	変形		無水			E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水			E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		無水			E		E	割れがないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート		戸当り								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合
埋 設 部	b	側部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	上部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水			E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				ワイヤロープウインチ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。				
			b	外観	変形，損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
構造体	b	構造全体	振動	中			H		H	異常振動がないこと。				
			異常音	中			S		S	異常音がないこと。				
	○	フレーム	たわみ	前			E	(地)	E	たわみがないこと。				
			変形	前			E	(地)	E	変形がないこと。				
			溶接部の割れ	前			E	(地)	E	割れがないこと。				
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落	前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。				
			損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
腐食（孔食）			前			E		E	腐食（孔食）がないこと。					

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置						
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			
						基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
動力部	○	主電動機	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
			異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
			温度上昇	○	中	H		M		M	異常な温度上昇がないこと。		
			電流値	○	中			M	(雷)	M	大幅な変動がなく，定格電流値以下であること。	管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。	
			電圧値	○	中			M	(雷)	M	作動時の定格電圧が，±10%以内であること。	管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。	
			絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い，1MΩ以上あること。		
			内部状態		休					W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		
		予備電動機	振動		中		H	H		H	異常振動がないこと。		
			異常音		中		S	S		S	異常音がないこと。		
			温度上昇	○	中		H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
			電流値	○	中			M	(雷)	M	大幅な変動がなく，定格電流値以下であること。	管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。	
			電圧値	○	中			M	(雷)	M	作動時の定格電圧が，±10%以内であること。	管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。	
			絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い，1MΩ以上あること。		
			内部状態		休					W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備 考		
	*1 重要 機器	*2 影機 響能 度対 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
動力部		b	内燃機関	始動性		前		D	D		D	円滑に始動できること。		
		b		振動		中		H	H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中		S	S		S	異常音がないこと。		
		b		漏油		前		E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
		b		燃料油量		前		E	E		E	油面計の規定内であること。		
		b		燃料劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		b		冷却水量		前			E		E	規定内の量であること。		
		b		冷却水劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		b		潤滑油量		前		E	E		E	油量計の規定内であること。		
		b		潤滑油劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		b		エレメント目づまり(汚れ)		前			E		E	目づまり，ひどい汚れがないこと。		
		b		Vベルトゆるみ		前			H	(地)	H	適正な張りがあること。		
		b		Vベルト損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		排気管損傷		前			E	(地)	E	断熱材，配管に損傷がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置						
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期				
						運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
					基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎							
動力部		b	内燃機関		前			E		M	液量が規定内であること。		
		b			前			M		M	比重が規定内であること。		
		b			休					W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		
制動部	○	a	電磁制動機 電動油圧押し式 制動機		中	D		D		D	確実に作動し，瞬時に停止すること。		
		b		○	休			M	(地)	M	適正なすきまが確保されていること。		
		b		○	休			M		M	異常な摩耗，偏摩耗がないこと。		
		a			前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		a			前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
		a			前	E		E	(地)	E	漏油がないこと。		
		a			前			E		E	油面計の規定内であること。		
		a			前			E		E	ひどい濁りがなく，乳白色化していないこと。		
		a		○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い，1MΩ以上あること。		
a		休						W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要機器	*2 機能影響度に対する	項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
減速装置	○	a	減速機	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H		M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				漏油		前	E		E	(地)	E	漏油がないこと。		
				潤滑油量		前			E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
○	a	b	ドラムギヤ ピニオン 中間ギヤ	異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
				歯面の損傷		○	前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
				歯当り		○	中		M		M	適正な当りがあること。		
				バックラッシュ		○	中		M		M	適正な範囲の数値であること。		
				給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
動力伝達部	○	a	切換装置	作動状況		中		D	D		D	スムーズに切換えられること。		
				振動		中		H	H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中		S	S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中		H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				漏油		前		E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
				潤滑油量		前			E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
	b	手動装置	作動状況		中		D	D		D	スムーズに切換えられ、手動操作が行えること。			
			振動		中			H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中			S		S	異常音がないこと。			
			漏油		前			E	(地)	E	漏油がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|---|--|

施設名		開閉装置形式				ワイヤロープウインチ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合
動力伝達部		b	手動装置	潤滑油量		前			E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
	○	a	連動軸	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
				損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	軸受	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H		M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				芯振れ	○	中					M	異常な芯振れがないこと。		
				給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		b		摩耗		休			E		M	摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要機器	*2 影響能度に対する	項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
動力伝達部	○	a	たわみ軸継手 (歯車形軸継手) (ローラチェーン 軸継手)	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
		b		芯振れ	○	中						M	異常な芯振れがないこと。	
		b		給油状態		休			E		E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
		a		内部状態		休						W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。	
扉体駆動部	○	a	ドラム	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		摩耗		休			E		M	ロープ溝部に異常な摩耗がないこと。		
	○	a	ドラム軸	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
○	a	ドラムロープ端末	ゆるみ，脱落		前			E	(地)	E	ゆるみ，脱落がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				ワイヤロープウインチ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉体駆動部	○	b	シーブ，軸，軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食（孔食）		前			E		E	腐食（孔食）がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	正常に回転すること。		
	○	b	ワイヤロープ	ごみ，異物の付着		前			E	(洪)	E	ごみ，砂塵等がロープに付着していないこと。		
		a		変形		前	E		E	(地) (洪)	E	線の不規則な飛出し，部分的な籠状，キック等がないこと。		
		b		発錆		前			E		E	発錆がないこと。		
		a		摩耗	○	休			M		M	異常な摩耗がないこと。		
		a		素線切れ	○	前			E	(地) (洪)	E	異常な素線切れがないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		内部状態		休					M	内部に腐食，断線がなく，著しい強度低下がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置								
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考			
	*1 重要機器	*2 影響能度に対する	項 目	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期						
						運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合		
					基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎									
保護装置	○	a	ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット		前	E		E	(地)	E	ゆるみがないこと。			
		a		ソケット		前			E	(地)	E	割りピンがはずれていないこと。			
		b		ロープ長さ		前			E	(地)	E	閉時にロープのゆるみが、左右同一であること。			
		b		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
	○	a	制限開閉器 (カウンタ式) (遊星歯車式)	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。			
		a		変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。			
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。			
	○	a	直動形 リミットスイッチ	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。			
		a		変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。			
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。			
	休止装置	○	a	休止装置	作動状況		中			D		D	休止操作が円滑に行えること。		
			c		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
開 度 計		b	機械式	作動状況		中			D		D	実揚程と指針表示が合致していること。		
		c		盤面の曇り		前			E		E	表示窓が透明で、視認に支障がないこと。		
給 油 装 置		b	給油ポンプ	損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		作動状況		前			D		D	適正な圧力が発生すること。		
		b		油量		前			E		E	適量で乳白色化していないこと。		
		b	給油配管	変形		前			E		E	変形がないこと。		
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		漏油		前			E		E	漏油がないこと。		
		b	分配弁	損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		作動状況		前			D		D	作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			
						基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
全 般	b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E		E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ、腐食がないこと。		
			破損		前	E		E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。		
			塗装状況		前			E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。		
			内部温度・湿度状態		前			E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。		
			絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。		
	b	機器，計器類共通	汚れ		前			E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。		
			変色		前			E	(地) (雷)	E	変色がないこと。		
			端子のゆるみ		断			E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。		
			異常音		中			S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。		
	計 器 類	b	電流計	電流値	○	中	E		M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。	
0点確認					前			E		E	ゲート停止時に0点を指していること。		
b		電圧計	電圧値	○	中	E		M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|---|

施設名								機側操作盤						
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期						不定期	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合
リ レ ー 類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D		D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
ス イ ッ チ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中			M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名						機側操作盤								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備		点 検 *3							*8 判定	備 考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 対 対 合 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期					不 定 期		判定方法
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前			D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
表 示 灯		b	表示灯	ランプテスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。		
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前			D	(地) (雷)	D	点灯すること。		
指 示 計		b	開度指示計	指示		中			D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。		
開 閉 器 類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。		
		a		異常音		前	S		D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。		
		a		接点		前			D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。		
		b	漏電継電器	作動テスト		中			D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名												機側操作盤		
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断			E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断			E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
		b	端子台	腐食		断			E		E	発錆がないこと。		
		c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。		
その他		b	避雷器	ランプテスト		前			E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。		
		b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前			D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。		
配管		b	配管	配管状態		前			E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。		

設備区分： レベルⅡ
稼働形態： 待機系設備

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3					*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期				不 定 期		
							管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。			
			ごみ，流木，土砂等		前	E	E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。			
		外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。			
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。			
扉体	a	構造全体	振動		中	H	H		M	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			片吊り		前		E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。			
	○	スキンプレート	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。			
			板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 機能 影響 度 対 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			*6 臨 時	総 合	判定方法	
							管理 運 転						年 点 検
							基本周期 2ヶ月毎						基本周期 1年毎
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地) (洪)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b	リベット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地) (洪)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3				*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
支 承 部	○	a	主ローラ，軸， 軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	回転すること。		
	○	b	補助ローラ，軸， 軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	回転すること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		ローラゲート				扉体						
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期					
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法	
														基本周期 2ヶ月毎
扉体付 シーブ	○	b	シーブ，シーブ軸， 軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。			
				a	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
				b	腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
				a	給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
				a	回転状況		中	D	D		D	回転すること。		
水密部		b	水密ゴム	変形		前		E		E	変形がないこと。			
				損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
				劣化		前		E		E	劣化がないこと。			
				漏水		有水		E		E	機能に支障がないこと。			
		b	ゴム押え板	変形		前		E		E	変形がないこと。			
				損傷		前		E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能												
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合
給油装置	b	給油ポンプ	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			作動状況		前		D		D	適正な圧力が発生すること。		
			油量		前		E		E	適量で乳白色化していないこと。		
	b	給油配管	変形		前		E		E	変形がないこと。		
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			漏油		前		E		E	漏油がないこと。		
	b	分配弁	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			作動状況		前		D		D	作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート				戸当り					
設備に要求される機能		点 検 *3											
装置区分	点検・整備		内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	*8 判定	備 考	
	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する				項 目	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	b	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。			
			ごみ，流木，土砂等		前	E	E	(洪)	E	戸溝内にごみ，流木，土砂等がないこと。			
	a	外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。			
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。			
取外し戸当り	b	主ローラレール	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。			
	b	補助ローラレール	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名				ゲート形式		ローラゲート				戸当り			
設備に要求される機能		点検・整備		点 検 *3						*8			
装置区分	*1 重要機器	*2 機能に 影響度 に対する	項 目	内 容	*4 トレ ンド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期		判定方法	判定	備 考
							管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
取外し戸当り		b	補助ローラレール	腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
埋設部		b	底部戸当り	変形		無水		E		E	変形がないこと。		
		b		損傷		無水		E		E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		ローラゲート		戸当り							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			*6 臨 時	総 合	判定方法	
							管 理 運 転						年 点 検
							基本周期 2ヶ月毎						基本周期 1年毎
埋設部	b	側部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
	b	上部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水		E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法
全 般		c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
		b	外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
構 造 体		b	構造全体	振動		中		H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中		S		S	異常音がないこと。		
	○	b	フレーム	たわみ		前		E	(地)	E	たわみがないこと。		
		a		変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
	b	腐食（孔食）			前		E		E	腐食（孔食）がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
動力部	○	主電動機	振動		中	H	H		H		異常振動がないこと。		
			異常音		中	S	S		S		異常音がないこと。		
			温度上昇	○	中	H	M		M		異常な温度上昇がないこと。		
			電流値	○	中		M	(雷)	M		大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。		管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。
			電圧値	○	中		M	(雷)	M		作動時の定格電圧が、±10%以内であること。		管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M		絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。		
			内部状態		休					W		構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。	
	○	予備電動機	振動		中	H	H		H		異常振動がないこと。		
			異常音		中	S	S		S		異常音がないこと。		
			温度上昇	○	中	H	M		M		異常な温度上昇がないこと。		
			電流値	○	中		M	(雷)	M		大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。		管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。
			電圧値	○	中		M	(雷)	M		作動時の定格電圧が、±10%以内であること。		管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M		絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。		
			内部状態		休					W		構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。	

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
動力部	b	内燃機関	始動性		前	D	D		D	円滑に始動できること。			
			振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。			
			燃料油量		前	E	E		E	油面計の規定内であること。			
			燃料劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
			冷却水量		前		E		E	規定内の量であること。			
			冷却水劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
			潤滑油量		前	E	E		E	油量計の規定内であること。			
			潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
			エレメント目づまり(汚れ)		前		E		E	目づまり，ひどい汚れがないこと。			
			Vベルトゆるみ		前		H	(地)	H	適正な張りがあること。			
			Vベルト損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。			
排気管損傷		前		E	(地)	E	断熱材，配管に損傷がないこと。						

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する	項目	内容	*4 トレンド 管理	*5 点検条件	定期			不定期			
							管理 運転			年点 検	*6 臨時	総合	
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
動力部		b	内燃機関	バッテリー液量		前		E		M	液量が規定内であること。		
		b		バッテリー比重		前		M		M	比重が規定内であること。		
		b		内部状態		休				W	構成部品に損傷, 異常な摩耗がないこと。		
制動部	○	a	電磁制動機 電動油圧押し式 制動機	作動状況		中	D	D		D	確実に作動し, 瞬時に停止すること。		
		b		ライニングのすきま	○	休		M	(地)	M	適正なすきまが確保されていること。		
		b		ライニングの摩耗	○	休		M		M	異常な摩耗, 偏摩耗がないこと。		
		a		ドラムの損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		a		制動部の清掃状態		前	E	E		E	ひどい汚れ, 油等の付着がないこと。		
		a		漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
		a		絶縁油量		前		E		E	油面計の規定内であること。		
		a		絶縁油劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく, 乳白色化していないこと。		
		a		絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い, 1MΩ以上あること。		
a	内部状態		休				W	構成部品に損傷, 異常な摩耗がないこと。					

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する					管理 運転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
減速装置	○	減速機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。			
			漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。			
			潤滑油量		前		E		E	油面計の規定内であること。			
			潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
			内部状態		休				W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。			
	○	ドラムギヤ ピニオン 中間ギヤ	異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
			歯面の損傷	○	前		E	(地)	E	損傷がないこと。			
			歯当り	○	中		M		M	適正な当りがあること。			
			バックラッシュ	○	中		M		M	適正な範囲の数値であること。			
			給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|---|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
動力伝達部	○	a	切換装置	作動状況		中	D	D		D	スムーズに切換えられること。		
				振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
				潤滑油量		前		E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休				W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		
	b	手動装置	作動状況		中	D	D		D	スムーズに切換えられ，手動操作が行えること。			
			振動		中		H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中		S		S	異常音がないこと。			
			漏油		前		E	(地)	E	漏油がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3				*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			*6 臨 時	総 合	判定方法	
							管 理 運 転						年 点 検
							基本周期 2ヶ月毎						基本周期 1年毎
動力伝達部	○	b	手動装置	潤滑油量		前		E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休				W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
	○	a	連動軸	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
				損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	軸受	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				芯振れ	○	中				M	異常な芯振れがないこと。		
				給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		b		摩耗		休		E		M	摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 影響度に対する					管理 運転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
動力伝達部	○	a	たわみ軸継手 (歯車形軸継手) (ローラチェーン 軸継手)	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
		b		芯振れ	○	中				M	異常な芯振れがないこと。		
		b		給油状態		休			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
		a		内部状態		休					W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。	
扉体駆動部	○	a	ドラム	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		摩耗		休		E		M	ロープ溝部に異常な摩耗がないこと。		
	○	a	ドラム軸	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
○	a	ドラムロープ端末	ゆるみ，脱落		前		E	(地)	E	ゆるみ，脱落がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 合 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
扉体駆動部	○	b	シーブ，軸，軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食（孔食）		前		E		E	腐食（孔食）がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	正常に回転すること。		
	○	b	ワイヤロープ	ごみ，異物の付着		前		E	(洪)	E	ごみ，砂塵等がロープに付着していないこと。		
		a		変形		前	E	E	(地) (洪)	E	線の不規則な飛出し，部分的な籠状，キンク等がないこと。		
		b		発錆		前		E		E	発錆がないこと。		
		a		摩耗	○	休		M		M	異常な摩耗がないこと。		
		a		素線切れ	○	前		E	(地) (洪)	E	異常な素線切れがないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		内部状態		休				M	内部に腐食，断線がなく，著しい強度低下がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判 定 方 法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
保 護 装 置	○	a	ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット		前	E	E	(地)	E	ゆるみがないこと。		
		a		ソケット		前		E	(地)	E	割りピンがはずれていないこと。		
		b		ロープ長さ		前		E	(地)	E	閉時にロープのゆるみが、左右同一であること。		
		b		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
	○	a	制限開閉器 (カウンタ式) (遊星歯車式)	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	直動形 リミットスイッチ	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
休 止 装 置	○	a	休止装置	作動状況		中		D		D	休止操作が円滑に行えること。		
		c		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ワイヤロープウインチ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する					管理 運転	年 点 検					
開度計	b	機械式	作動状況		中		D		D	実揚程と指針表示が合致していること。			
	c		盤面の曇り		前		E		E	表示窓が透明で、視認に支障がないこと。			
給油装置	b	給油ポンプ	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
	b		作動状況		前		D		D	適正な圧力が発生すること。			
	b		油量		前		E		E	適量で乳白色化していないこと。			
	b	給油配管	変形		前		E		E	変形がないこと。			
	b		損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
	b		漏油		前		E		E	漏油がないこと。			
	b	分配弁	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
	b		作動状況		前		D		D	作動すること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能		点 検 *3										*8 判定	備考
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法		
	*1 重要機器	*2 影 響 能 度 合 計					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
全般	b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E	E		E	ひどい汚れ，ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ，腐食がないこと。			
			破損		前	E	E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。			
			塗装状況		前		E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
			内部温度・湿度状態		前		E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。			
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い，1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ		前		E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
			変色		前		E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
			端子のゆるみ		断		E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。			
			異常音		中		S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。			
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前		E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が，±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名				機側操作盤									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法
							管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
リ レ ー 類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D	D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
ス イ ッ チ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名				機側操作盤									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3								*8 判定	備考
	*1 重要 機器	*2 機能 影響 度 合 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期		判定方法		
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前		D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
表示灯		b	表示灯	ランプテスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。		
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前		D	(地) (雷)	D	点灯すること。		
指示計		b	開度指示計	指示		中		D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。		
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。		
		a		異常音		前	S	D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。		
		a		接点		前		D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。		
		b	漏電継電器	作動テスト		中		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
	b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
	c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他	b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管	b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

設備区分： レベルⅡ
稼働形態： 常用系設備

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E		E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。				
		外観	変形，損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
扉体	a	構造全体	振動	中	H		H		M	異常振動がないこと。				
			異常音	中	S		S		S	異常音がないこと。				
			片吊り	前			E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。				
	○	スキンプレート	変形	前			E		E	変形がないこと。				
			損傷	前	E		E		E	損傷がないこと。				
			板厚の減少	前					M	測定結果により判定のこと。				
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考	
	*1 重要機器	*2 影機能に対する 影響度合					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉体	○	a	主桁, 補助桁	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前						M	測定結果により判定のこと。	
		b		腐食(孔食)		前			E		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
		b		溶接部の割れ		前			E		E	E	割れがないこと。	
	○	b	ボルト, ナット	ゆるみ, 脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ, 脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
	○	b	リベット	ゆるみ, 脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ, 脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
b		腐食(孔食)			前			E		E	E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
支 承 部	○	a	主ローラ，軸， 軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	回転すること。		
	○	b	補助ローラ，軸， 軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E		E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	回転すること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体							
設備に要求される機能		点検・整備										点検 *3		*8		備考	
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考				
							運転時点検	管理運転	年点検	*6 臨時				総合			
															基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎	
扉体付シーブ	○	b	シーブ，シーブ軸，軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。					
		a		損傷		前			E		E	損傷がないこと。					
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。					
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。					
		a		回転状況		中	D		D		D	回転すること。					
水密部		b	水密ゴム	変形		前			E		E	変形がないこと。					
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。					
		b		劣化		前			E		E	劣化がないこと。					
		b		漏水		有水			E		E	機能に支障がないこと。					
		b	ゴム押え板	変形		前			E		E	変形がないこと。					
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。					

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影機 響能 度に 対す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
給油装置	b	給油ポンプ	損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			作動状況		前			D		D	適正な圧力が発生すること。			
			油量		前			E		E	適量で乳白色化していないこと。			
	b	給油配管	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			漏油		前			E		E	漏油がないこと。			
	b	分配弁	損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			作動状況		前			D		D	作動すること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				戸当り				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド 管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般		b	清掃状態	汚れ		前	E		E	E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。			
		b		ごみ, 流木, 土砂等		前	E		E	(洪)	E	戸溝内にごみ, 流木, 土砂等がないこと。		
		a	外観	変形, 損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷, 変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前			E		E	発錆, ふくれ, 亀裂, はく離, 変退色, 白亜化がないこと。		
取外し戸当り		b	主ローラレール	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。		
		b	補助ローラレール	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
取 外 し 戸 当 り	b	補助ローラレール	腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。			
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
埋 設 部	b	底部戸当り	変形		無水			E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水			E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		無水			E		E	割れがないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		ゲート形式				ローラゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
埋 設 部	b	側部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	上部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水			E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般		c	清掃状態	汚れ		前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
		b	外観	変形，損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
構造体		b	構造全体	振動		中			H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中			S		S	異常音がないこと。		
	○	b	フレーム	たわみ		前			E	(地)	E	たわみがないこと。		
		a		変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
	b	腐食（孔食）			前			E		E	腐食（孔食）がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|---|--|

施設名		開閉装置形式				ワイヤロープウインチ式開閉装置								
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
動力部	○	主電動機	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇	○	中	H		M		M	異常な温度上昇がないこと。			
			電流値	○	中			M	(雷)	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。	管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目を含む。		
			電圧値	○	中			M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。	管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目を含む。		
			絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。			
			内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。			
		予備電動機	振動		中		H	H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中		S	S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇	○	中		H	M		M	異常な温度上昇がないこと。			
			電流値	○	中			M	(雷)	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。	管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目を含む。		
			電圧値	○	中			M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。	管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目を含む。		
			絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。			
			内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影機 響能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
動力部		b	内燃機関	始動性		前		D	D		D	円滑に始動できること。		
		b		振動		中		H	H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中		S	S		S	異常音がないこと。		
		b		漏油		前		E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
		b		燃料油量		前		E	E		E	油面計の規定内であること。		
		b		燃料劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		b		冷却水量		前			E		E	規定内の量であること。		
		b		冷却水劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		b		潤滑油量		前		E	E		E	油量計の規定内であること。		
		b		潤滑油劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		b		エレメント目づまり(汚れ)		前			E		E	目づまり，ひどい汚れがないこと。		
		b		Vベルトゆるみ		前			H	(地)	H	適正な張りがあること。		
		b		Vベルト損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		排気管損傷		前			E	(地)	E	断熱材，配管に損傷がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置						
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期				
						運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
					基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎							
動力部		b	内燃機関		前			E		M	液量が規定内であること。		
		b			前			M		M	比重が規定内であること。		
		b			休					W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		
制動部	○	a	電磁制動機 電動油圧押し式 制動機		中	D		D		D	確実に作動し，瞬時に停止すること。		
		b		○	休			M	(地)	M	適正なすきまが確保されていること。		
		b		○	休			M		M	異常な摩耗，偏摩耗がないこと。		
		a			前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		a			前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
		a			前	E		E	(地)	E	漏油がないこと。		
		a			前			E		E	油面計の規定内であること。		
		a			前			E		E	ひどい濁りがなく，乳白色化していないこと。		
		a		○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い，1MΩ以上あること。		
a		休						W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				ワイヤロープウインチ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
減速装置	○	減速機	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。			
			温度上昇		中	H		M		M	異常な温度上昇がないこと。			
			漏油		前	E		E	(地)	E	漏油がないこと。			
			潤滑油量		前			E		E	油面計の規定内であること。			
			潤滑油劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
			内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。			
	○	ドラムギヤ ピニオン 中間ギヤ	異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。			
			歯面の損傷		○	前		E	(地)	E	損傷がないこと。			
			歯当り		○	中		M		M	適正な当りがあること。			
			バックラッシュ		○	中		M		M	適正な範囲の数値であること。			
			給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
動力伝達部	○	a	切換装置	作動状況		中		D	D		D	スムーズに切換えられること。		
				振動		中		H	H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中		S	S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中		H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				漏油		前		E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
				潤滑油量		前			E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
	b	手動装置	作動状況		中		D	D		D	スムーズに切換えられ、手動操作が行えること。			
			振動		中			H		H	異常振動がないこと。			
			異常音		中			S		S	異常音がないこと。			
			漏油		前			E	(地)	E	漏油がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要機器	*2 機能上影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期				判定方法	
							運転時点検	管理運転	年点検	*6 臨時				総合
動力伝達部	○	b	手動装置	潤滑油量		前			E		E	油面計の規定内であること。		
				潤滑油		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
				内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
	○	a	連動軸	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
				損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	軸受	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
				異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
				温度上昇		中	H		M		M	異常な温度上昇がないこと。		
				芯振れ	○	中					M	異常な芯振れがないこと。		
				給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		b		摩耗		休			E		M	摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
動力伝達部	○	a	たわみ軸継手 (歯車形軸継手) (ローラチェーン 軸継手)	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
		b		芯振れ	○	中						M	異常な芯振れがないこと。	
		b		給油状態		休			E		E	E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
		a		内部状態		休						W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。	
扉体駆動部	○	a	ドラム	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		摩耗		休			E		M	ロープ溝部に異常な摩耗がないこと。		
	○	a	ドラム軸	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	ドラムロープ端末	ゆるみ，脱落		前			E	(地)	E	ゆるみ，脱落がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備 考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
								基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
扉体駆動部	○	b	シーブ，軸，軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食（孔食）		前			E		E	腐食（孔食）がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	正常に回転すること。		
	○	b	ワイヤロープ	ごみ，異物の付着		前			E	(洪)	E	ごみ，砂塵等がロープに付着していないこと。		
		a		変形		前	E		E	(地) (洪)	E	線の不規則な飛出し，部分的な籠状，キック等がないこと。		
		b		発錆		前			E		E	発錆がないこと。		
		a		摩耗	○	休			M		M	異常な摩耗がないこと。		
		a		素線切れ	○	前			E	(地) (洪)	E	異常な素線切れがないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		内部状態		休					M	内部に腐食，断線がなく，著しい強度低下がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|---|--|

施設名		開閉装置形式						ワイヤロープウインチ式開閉装置							
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合	
															基本周期 2ヶ月毎
保護装置	○	a	ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット		前	E		E	(地)	E	ゆるみがないこと。			
		a		ソケット		前			E	(地)	E	割りピンがはずれていないこと。			
		b		ロープ長さ		前			E	(地)	E	閉時にロープのゆるみが、左右同一であること。			
		b		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
	○	a	制限開閉器 (カウンタ式) (遊星歯車式)	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。			
		a		変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。			
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。			
	○	a	直動形 リミットスイッチ	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。			
		a		変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。			
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。			
	休止装置	○	a	休止装置	作動状況		中			D		D	休止操作が円滑に行えること。		
			c		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|---|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|---|

施設名		開閉装置形式					ワイヤロープウインチ式開閉装置								
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					*8	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時					総 合
開 度 計		b	機械式	作動状況		中			D		D	実揚程と指針表示が合致していること。			
		c		盤面の曇り		前			E		E	表示窓が透明で、視認に支障がないこと。			
給 油 装 置		b	給油ポンプ	損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
		b		作動状況		前			D		D	適正な圧力が発生すること。			
		b		油量		前			E		E	適量で乳白色化していないこと。			
		b	給油配管	変形		前			E		E	変形がないこと。			
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
		b		漏油		前			E		E	漏油がないこと。			
		b	分配弁	損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
		b		作動状況		前			D		D	作動すること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|---|--|

施設名												機側操作盤		
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全 般	b	盤全般	清掃・塗装状態	前	E		E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ、腐食がないこと。				
			破損	前	E		E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。				
			塗装状況	前			E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。				
			内部温度・湿度状態	前			E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。				
			絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ	前			E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。				
			変色	前			E	(地) (雷)	E	変色がないこと。				
			端子のゆるみ	断			E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。				
			異常音	中			S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。				
	計 器 類	b	電流計	電流値	○	中	E		M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前			E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E		M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|

施設名		機側操作盤												
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期				
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
リ レ ー 類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D		D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
ス イ ッ チ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中			M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名							機側操作盤							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備 考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 対 合 ず る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前			D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
表 示 灯		b	表示灯	ランプテスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。		
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前			D	(地) (雷)	D	点灯すること。		
指 示 計		b	開度指示計	指示		中			D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。		
開 閉 器 類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	異常なく動作すること。		
		a		異常音		前	S		D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。		
		a		接点		前			D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。		
		b	漏電継電器	作動テスト		中			D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名												機側操作盤		
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断			E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断			E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
	b	端子台	腐食		断			E		E	発錆がないこと。			
	c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他	b	避雷器	ランプテスト		前			E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前			D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管	b	配管	配管状態		前			E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

点 検 記 録 表 (案)

扉体形式 : スライドゲート
開閉装置形式 : ラック式

設備区分： レベル I
稼働形態： 待機系設備

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		扉体							
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E	E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。				
		外観	変形，損傷	前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前		E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
扉体	a	構造全体	振動	中	H	H		M	異常振動がないこと。				
			異常音	中	S	S		S	異常音がないこと。				
			片吊り	前		E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。				
	○	スキンプレート	変形	前		E		E	変形がないこと。				
			損傷	前	E	E		E	損傷がないこと。				
			板厚の減少	前				M	測定結果により判定のこと。				
			腐食(孔食)	前		E		E	腐食(孔食)がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 機能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			*6 臨 時	総 合	判定方法	
							管理 運 転						年 点 検
							基本周期 1ヶ月毎						基本周期 1年毎
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。		
	○	b	クサビ	損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		扉体圧着状態		前		E	(地) (洪)	E	水密ゴムと戸当りに隙間がないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
	b	損傷			前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
	b	腐食(孔食)			前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		扉体							
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
扉体		b	リベット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
支承部	○	a	摺動板	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		a		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		摺動状態		中	D	D		D	運転時に異常なく開閉すること。		
		b	サイドシュー	摩耗		前		E		E	摩耗がないこと。		
		b		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
吊り金物	○	a	吊り金物，吊りピン	損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
水密部	b	水密ゴム	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	劣化がないこと。			
			漏水		有水		E		E	機能に支障がないこと。			
	b	ゴム押え板	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		戸当り							
設備に要求される機能		点 検 *3						*8 判定	備考				
装置区分	点検・整備		*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期						
	*1 重要機器	*2 影 機 響 能 度 対 合 する			項 目	内 容	管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判定方法
全般	b	清掃状態	汚れ	前	E	E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E	E	(洪)	E	戸溝内にごみ，流木，土砂等がないこと。				
	a	外観	変形，損傷	前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前		E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
取外し戸当り	b	レール	変形	前		E	(地)	E	変形がないこと。				
			損傷	前		E	(地)	E	損傷がないこと。				
			腐食(孔食)	前		E		E	腐食(孔食)がないこと。				
			溶接部の割れ	前		E	(地)	E	割れがないこと。				
	b	補助レール	変形	前		E	(地)	E	変形がないこと。				
			損傷	前		E	(地)	E	損傷がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		戸当り							
設備に要求される機能		点 検 *3						*8 判定	備考				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			*6 臨時	総合	判定方法	
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管 理 運 転						年 点 検
							基本周期 1ヶ月毎						基本周期 1年毎
取外し戸当り	b	補助レール	腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。			
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
埋設部	b	底部戸当り	変形		無水		E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		戸当り							
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
埋設部	b	側部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
	b	上部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。				
		コンクリートの漏水		有水		E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法
全 般		c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
		b	外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
構 造 体		b	構造全体	振動		中		H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中		S		S	異常音がないこと。		
	○	b	架台	たわみ		前		E	(地)	E	たわみがないこと。		
		a		変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
	b	腐食（孔食）			前		E		E	腐食（孔食）がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置										
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 合 格 率	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判 定 方 法	判 定	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時					総 合
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
動力部	○	主電動機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。				
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。				
			温度上昇	○	中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。				
			電流値	○	中		M	(雷)	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。		管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。		
			電圧値	○	中		M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。		管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。		
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。				
			内部状態		休				W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。				
		内燃機関	始動性		前	D	D		D	円滑に始動できること。				
			振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。				
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。				
			漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。				
			燃料油量		前	E	E		E	油面計の規定内であること。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置										
設備に要求される機能		点 検 *3						*8	備考					
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			*6 臨時	総合	判定方法	判定	
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る					管理 運 転							年 点 検
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
動力部		b	内燃機関	燃料劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
		b		冷却水量		前		E		E	規定内の量であること。			
		b		冷却水劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
		b		潤滑油量		前	E	E		E	油量計の規定内であること。			
		b		潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
		b		エレメント目づまり(汚れ)		前		E		E	目づまり，ひどい汚れがないこと。			
		b		Vベルトゆるみ		前		H	(地)	H	適正な張りがあること。			
		b		Vベルト損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。			
		b		排気管損傷		前		E	(地)	E	断熱材，配管に損傷がないこと。			
		b		バッテリー液量		前		E		M	液量が規定内であること。			
		b		バッテリー比重		前		M		M	比重が規定内であること。			
		b		内部状態		休					W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置										
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 合 对 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期					
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法	
														基本周期 1ヶ月毎
動力部		b	手動装置	作動状況		中	D	D		D	円滑に開閉操作ができること。			
		b		操作力		中		M	M	M	操作力が100N以下であること。			
制動部	○	a	制動機構（セルフロック）	作動状況		前		D		D	扉体が降下しないこと。			
	○	b	遠心ブレーキ	外観		前		E		E	発錆がないこと。			
		b		ライニングの摩耗	○	前		M		M	ライニング厚1mm以上のこと。			
		a		作動状況		中		D		D	自重降下すること。			
		b		自重降下速度		中		M		M	6m/min以下または開閉装置の仕様通りのこと。			
減速装置	○	a	本体（減速機）	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
		a		異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。			
		a		温度上昇		中		H		M	異常な温度上昇がないこと。			
		a		漏油		前	E	E	(地)	E	E	漏油がないこと。		
		a		潤滑油量		前		E		E	E	油面計の規定内であること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 影響度 に対する	項目	内容	*4 トレンド 管理	*5 点検条件	定期			*6 臨時	総合	判定方法	
							管理 運転						年点 検
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
減速装置	○	a	本体（減速機）	潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		a		内部状態		休				W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		
動力伝達部	○	a	切替装置	作動状況		前	D	D		W	円滑に切換ができること。		
		a		連動軸	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。	
	a	損傷			前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。			
	○	a	軸継手	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
		b		芯振れ	○	中					M	異常な芯振れがないこと。	
b		給油状態			休		E			E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
a	内部状態		休						W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉 体 駆 動 部	○	a	ラックピン	摩耗	○	前	E	E, M		M	開閉装置メーカーに許容値を確認のこと。		
		b		給油状態		前		E, H		E, H	ラックピンにグリースが付着していること。		
	○	a	ラック棒	変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		異常音		中		S		S	異常音がないこと。		
保 護 装 置	○	a	過負荷防止機構	作動状況		前		D		D	正常に作動すること。		
	○	a	制限開閉器	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
○	a	リミットスイッチ	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。			
開 度 計		b	機械式	作動状況		中		D		D	実揚程と指針表示が合致していること。		
		c		盤面の曇り		前		E		E	表示窓が透明で、視認に支障がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
中間 振 止		b	中間振止	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		ラック棒との干渉		中		E		E	ラック棒と干渉しないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名				機側操作盤									
設備に要求される機能				点 検 *3								*8	
装置区分	点検・整備			内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影 響 能 度 合 計	項 目				管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
全般	b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E	E		E	ひどい汚れ，ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ，腐食がないこと。			
			破損		前	E	E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。			
			塗装状況		前		E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
			内部温度・湿度状態		前		E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。			
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い，1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ		前		E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
			変色		前		E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
			端子のゆるみ		断		E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。			
			異常音		中		S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。			
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前		E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が，±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤												
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	*3 定期		不定期		*6 臨時 総合	判定方法	*8 判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 合 対 する					管理 運 転	年 点 検	臨時	総合				
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
リレー類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D	D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。			
		a		異常音		中	S	D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。			
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。			
				設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。			
○	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。				
スイッチ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。			
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。			
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。			
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはP L Cの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。			
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		機側操作盤												
設備に要求される機能		点検・整備										*8 判定	備考	
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する 合	項目	内容	*4 トレンド 管理	*5 点検 条件	*3 定期		不定期		*6 臨時 総合			判定方法
							管理 運転	年 点 検	*6 臨時	総合				
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。			
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。			
	○	a	アナログユニット	零点調整, スパン調整および動作確認(精度確認)		前		D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し、±1.0%F.S.以内であること。			
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。			
表示灯		b	表示灯	ランプテスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。			
		c	盤内蛍光灯	点灯, 球切れ		前		D	(地) (雷)	D	点灯すること。			
指示計		b	開度指示計	指示		中		D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程(または発信器)と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。			
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。			
		異常音			前	S	D, S	(地) (雷)	D, S	異常音, 振動がないこと。				
		接点			前		D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。				
		b	漏電継電器	作動テスト		中		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				判定方法
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
	b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
	c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他	b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管	b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

設備区分： レベル I
稼働形態： 常用系設備

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響度 に対する					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E		E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。				
		外観	変形，損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
扉体	a	構造全体	振動	中	H		H		M	異常振動がないこと。				
			異常音	中	S		S		S	異常音がないこと。				
			片吊り	前			E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。				
	○	スキンプレート	変形	前			E		E	変形がないこと。				
			損傷	前	E		E		E	損傷がないこと。				
			板厚の減少	前					M	測定結果により判定のこと。				
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式				スライドゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考	
	*1 重要機器	*2 影 響 能 度 対 する					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前						M	測定結果により判定のこと。	
		b		腐食(孔食)		前			E		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
		b		溶接部の割れ		前			E		E	E	割れがないこと。	
		b	クサビ	損傷		前			E	(地) (洪)	E	E	損傷がないこと。	
		b		扉体圧着状態		前			E	(地) (洪)	E	E	水密ゴムと戸当りに隙間がないこと。	
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。	
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	E	損傷がないこと。	
		b		腐食(孔食)		前			E		E	E	腐食(孔食)がないこと。	

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド 管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要 機器	*2 影機 響能 度合 対す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
扉体		b	リベット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
支承部	○	a	摺動板	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		a		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		摺動状態		中	D		D		D	運転時に異常なく開閉すること。		
		b	サイドシュー	摩耗		前			E		E	摩耗がないこと。		
		b		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
吊り金物	○	a	吊り金物，吊りピン	損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
水密部	b	水密ゴム	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前			E		E	劣化がないこと。			
			漏水		有水			E		E	機能に支障がないこと。			
	b	ゴム押え板	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	b	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。				
			ごみ, 流木, 土砂等	前	E		E	(洪)	E	戸溝内にごみ, 流木, 土砂等がないこと。				
	a	外観	変形, 損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷, 変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆, ふくれ, 亀裂, はく離, 変退色, 白亜化がないこと。				
取外し戸当り	b	レール	変形	前			E	(地)	E	変形がないこと。				
			損傷	前			E	(地)	E	損傷がないこと。				
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。				
			溶接部の割れ	前			E	(地)	E	割れがないこと。				
	b	補助レール	変形	前			E	(地)	E	変形がないこと。				
			損傷	前			E	(地)	E	損傷がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				戸当り							
設備に要求される機能		点検・整備										点検 *3		*8		備考	
装置区分	*1 重要機器	*2 機能影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期			不定期		判定方法	判定	備考			
							運転時点検	管理運転	年点検	*6 臨時	総合						
															基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎	
取外し戸当り		b	補助レール	腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。					
		b		溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。					
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。					
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。					
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。					
埋設部		b	底部戸当り	変形		無水			E		E	変形がないこと。					
		b		損傷		無水			E		E	損傷がないこと。					
		b		腐食(孔食)		無水			E		E	腐食(孔食)がないこと。					
		b		溶接部の割れ		無水			E		E	割れがないこと。					

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
埋 設 部	b	側部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	上部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水			E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 度 合 計	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合
判定方法													
全般	c	清掃状態	汚れ	汚れ		前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。	
			b	外観	変形，損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。
	b	塗装	損傷	損傷		前			E		E	損傷がないこと。	
			劣化	劣化		前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。	
構造体	b	構造全体	振動	振動		中			H		H	異常振動がないこと。	
			異常音	異常音		中			S		S	異常音がないこと。	
	○	架台	たわみ	たわみ		前			E	(地)	E	たわみがないこと。	
			変形	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。	
			溶接部の割れ	溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。	
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。	
			損傷	損傷		前			E		E	損傷がないこと。	
腐食（孔食）			腐食（孔食）		前			E		E	腐食（孔食）がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
動力部	○	a	主電動機	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
		a		温度上昇	○	中	H		M		M	異常な温度上昇がないこと。		
		b		電流値	○	中			M	(雷)	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。	管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。	
		b		電圧値	○	中			M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。	管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。	
		a		絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。		
		a		内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
		b	内燃機関	始動性		前		D	D		D	円滑に始動できること。		
		b		振動		中		H	H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中		S	S		S	異常音がないこと。		
b		漏油			前		E	E	(地)	E	漏油がないこと。			
b		燃料油量			前		E	E		E	油面計の規定内であること。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置									
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法			
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合	
						基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎								
動力部		b	内燃機関	燃料劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
		b		冷却水量		前				E		E	規定内の量であること。		
		b		冷却水劣化		前				E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		b		潤滑油量		前			E	E		E	油量計の規定内であること。		
		b		潤滑油劣化		前				E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		b		エレメント目づまり(汚れ)		前				E		E	目づまり，ひどい汚れがないこと。		
		b		Vベルトゆるみ		前				H	(地)	H	適正な張りがあること。		
		b		Vベルト損傷		前				E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		排気管損傷		前				E	(地)	E	断熱材，配管に損傷がないこと。		
		b		バッテリー液量		前				E		M	液量が規定内であること。		
		b		バッテリー比重		前				M		M	比重が規定内であること。		
		b		内部状態		休						W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置										
設備に要求される機能																
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期							
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合		
															基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎
動力部		b	手動装置	作動状況		中		D	D		D	円滑に開閉操作ができること。				
		b		操作力		中				M		M	操作力が100N以下であること。			
制動部	○	a	制動機構 (セルフロック)	作動状況		前				D		D	扉体が降下しないこと。			
	○	b	遠心ブレーキ	外観		前				E		E	発錆がないこと。			
		b		ライニングの摩耗	○	前				M		M	ライニング厚1mm以上のこと。			
		a		作動状況		中					D		D	自重降下すること。		
		b		自重降下速度		中					M		M	6m/min以下または開閉装置の仕様通りのこと。		
減速装置	○	a	本体 (減速機)	振動		中	H			H		H	異常振動がないこと。			
		a		異常音		中	S			S		S	異常音がないこと。			
		a		温度上昇		中					H		M	異常な温度上昇がないこと。		
		a		漏油		前	E				E	(地)	E	漏油がないこと。		
		a		潤滑油量		前					E		E	油面計の規定内であること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合
減速装置	○	a	本体（減速機）	潤滑油劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		a		内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
動力伝達部	○	a	切替装置	作動状況		前		D	D		W	円滑に切換ができること。		
	○	a	連動軸	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	軸継手	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
		b		芯振れ		○	中					M	異常な芯振れがないこと。	
b		給油状態			休				E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
a	内部状態		休						W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式					ラック式開閉装置						
設備に要求される機能		点検・整備											
装置区分	点検・整備		点検 *3							*8		備考	
	*1 重要機器	*2 機能影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法		判定
							運転時点検	管理運転	年点検	*6 臨時			
						基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
扉体駆動部	○	a	ラックピン	摩耗	○	前	E		E, M		M	開閉装置メーカーに許容値を確認のこと。	
		b		給油状態		前			E, H		E, H	ラックピンにグリースが付着していること。	
	○	a	ラック棒	変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。	
		b		異常音		中			S		S	異常音がないこと。	
保護装置	○	a	過負荷防止機構	作動状況		前			D		D	正常に作動すること。	
	○	a	制限開閉器	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。	
		a		変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。	
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。	
○	a	リミットスイッチ	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
開度計		b	機械式	作動状況		中			D		D	実揚程と指針表示が合致していること。	
		c		盤面の曇り		前			E		E	表示窓が透明で、視認に支障がないこと。	

点検記録表

- *1 重要機器・・・○
 *2 機能上著しく影響あり …… a
 機能上影響あり …………… b
 機能上影響なし …………… c
 *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
 S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解

- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
 *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
 有水，無水

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *6 臨時点検 全て行う …… ○
 地震時のみ…(地)
 落雷時のみ…(雷)
 洪水時のみ…(洪)
 *8 G：良好あるいは異常なし
 N：異常（要処置（保全整備））
 －：内容の実施なし
 塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 機 能 度 合 対 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
中間 振 止	b	中間振止	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。			
			ラック棒との干渉		中			E		E	ラック棒と干渉しないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名												機側操作盤			
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期			判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合	
															基本周期 1ヶ月毎
全般		b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E		E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ、腐食がないこと。			
		b		破損		前	E		E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。			
		b		塗装状況		前			E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
		b		内部温度・湿度状態		前			E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。			
		a		絶縁抵抗		○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。		
		b	機器，計器類共通	汚れ		前			E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
		b		変色		前			E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
		b		端子のゆるみ		断			E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。			
b	異常音			中			S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。					
計器類		b	電流計	電流値		○	中	E		M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
		b		0点確認		前			E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
		b	電圧計	電圧値		○	中	E		M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|

施設名		機側操作盤												
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期				
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
リ レ ー 類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D		D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
ス イ ッ チ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中			M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名												機側操作盤		
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前			D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
表 示 灯		b	表示灯	ランプテスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。		
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前			D	(地) (雷)	D	点灯すること。		
指 示 計		b	開度指示計	指示		中			D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。		
開 閉 器 類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	異常なく動作すること。		
		a		異常音		前	S		D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。		
		a		接点		前			D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。		
		b	漏電継電器	作動テスト		中			D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名												機側操作盤		
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。			
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。			
		b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
		c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他		b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
		b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管		b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

設備区分： レベルⅡ
稼働形態： 待機系設備

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		扉体					
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				判定	備考		
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上影響度に対する項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期				不定期	
						管理運転	年点検			*6 臨時	総合
						基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎				
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。	
			ごみ，流木，土砂等		前	E	E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。	
		外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。	
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。	
			劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。	
扉体	a	構造全体	振動		中	H	H		M	異常振動がないこと。	
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。	
			片吊り		前		E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。	
	○	スキンプレート	a	変形		前		E		E	変形がないこと。
			a	損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。
			b	板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。
			b	腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			*6 臨 時	総 合	判定方法	
							管理 運 転						年 点 検
							基本周期 2ヶ月毎						基本周期 1年毎
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。		
	○	b	クサビ	損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		扉体圧着状態		前		E	(地) (洪)	E	水密ゴムと戸当りに隙間がないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
	b	損傷			前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
	b	腐食(孔食)			前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名				ゲート形式		スライドゲート				扉体			
設備に要求される機能		点検・整備		点 検 *3						*8 判定	備考		
装置区分	*1 重要機器	*2 影 機 響 能 度 に 合 対 す する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法	
							管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
扉体		b	リベット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
支 承 部	○	a	摺動板	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		a		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		摺動状態		中	D	D		D	運転時に異常なく閉閉すること。		
		b	サイドシュー	摩耗		前		E		E	摩耗がないこと。		
		b		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
吊 り 金 物	○	a	吊り金物，吊りピン	損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		スライドゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
水密部	b	水密ゴム	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	劣化がないこと。			
			漏水		有水		E		E	機能に支障がないこと。			
	b	ゴム押え板	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		スライドゲート		戸当り							
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する	項目	内容	*4 トレンド 管理	*5 点検条件	定期			不定期			
							管理 運転			年点 検	*6 臨時	総 合	
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
全般		b	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。		
		b		ごみ，流木，土砂等		前	E	E	(洪)	E	戸溝内にごみ，流木，土砂等がないこと。		
		a	外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
取外し戸当り		b	レール	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。		
		b	補助レール	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		スライドゲート		戸当り							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3						*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期				不 定 期		
							管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
取 外 し 戸 当 り	b	補助レール	腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。			
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
埋 設 部	b	底部戸当り	変形		無水		E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		スライドゲート		戸当り							
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
埋設部	b	側部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
	b	上部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。				
		コンクリートの漏水		有水		E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと				

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法
全 般		c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
		b	外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
構 造 体	○	b	構造全体	振動		中		H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中		S		S	異常音がないこと。		
	○	b	架台	たわみ		前		E	(地)	E	たわみがないこと。		
		a		変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E	(地)	E	割れがないこと。		
	○	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
b		腐食（孔食）			前		E		E	腐食（孔食）がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 合 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
動力部	○	a	主電動機	振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
		a		温度上昇	○	中	H	M		M	異常な温度上昇がないこと。		
		b		電流値	○	中		M	(雷)	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。		管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。
		b		電圧値	○	中		M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。		管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。
		a		絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。		
		a		内部状態		休				W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
		b	内燃機関	始動性		前	D	D		D	円滑に始動できること。		
		b		振動		中	H	H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
		b		漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
		b		燃料油量		前	E	E		E	油面計の規定内であること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置								
設備に要求される機能												
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期		
							管理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合
				基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎							
動力部	b		燃料劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
	b		冷却水量		前		E		E	規定内の量であること。		
	b		冷却水劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
	b		潤滑油量		前	E	E		E	油量計の規定内であること。		
	b		潤滑油劣化		前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
	b		エレメント目づまり(汚れ)		前		E		E	目づまり，ひどい汚れがないこと。		
	b		Vベルトゆるみ		前		H	(地)	H	適正な張りがあること。		
	b		Vベルト損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
	b		排気管損傷		前		E	(地)	E	断熱材，配管に損傷がないこと。		
	b		バッテリー液量		前		E		M	液量が規定内であること。		
	b		バッテリー比重		前		M		M	比重が規定内であること。		
	b		内部状態		休					W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。	

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 影響度 に対する 項目	内 容	*4 トレ ンド 管理	*5 点 検 条 件	定 期				不定期			
						管理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	判定方法	
								基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎				
動力部		b	手動装置		中	D	D		D	円滑に開閉操作ができること。			
		b			中		M	M	M	操作力が100N以下であること。			
制動部	○	a	制動機構（セルフロック）		前		D		D	扉体が降下しないこと。			
	○	b	遠心ブレーキ		前		E		E	発錆がないこと。			
		b		ライニングの摩耗	○	前		M		M	ライニング厚1mm以上のこと。		
		a		作動状況		中		D		D	自重降下すること。		
		b		自重降下速度		中		M		M	6m/min以下または開閉装置の仕様通りのこと。		
減速装置	○	a	本体（減速機）		中	H	H		H	異常振動がないこと。			
		a		異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
		a		温度上昇		中		H		M	異常な温度上昇がないこと。		
		a		漏油		前	E	E	(地)	E	漏油がないこと。		
		a		潤滑油量		前		E		E	油面計の規定内であること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置							
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考		
装置区分	*1 重要機器	*2 影響度 に対する 項目	内 容	*4 トレンド 管理	*5 点検条件	定 期				不定期	
						管理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合
						基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎				
減速装置	○	a	本体（減速機）	潤滑油劣化	前		E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。	
		a		内部状態	休				W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。	
動力伝達部	○	a	切替装置	作動状況	前	D	D		W	円滑に切換ができること。	
		○	a	連動軸	変形	前		E	(地)	E	変形がないこと。
	損傷				前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。	
	○	a	軸継手	振動	中	H	H		H	異常振動がないこと。	
				異常音	中	S	S		S	異常音がないこと。	
				芯振れ	○	中				M	異常な芯振れがないこと。
				給油状態	休		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。	
a		内部状態	休				W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
扉 体 駆 動 部	○	a	ラックピン	摩耗	○	前	E	E, M		M	開閉装置メーカーに許容値を確認のこと。		
		b		給油状態		前		E, H		E, H	ラックピンにグリースが付着していること。		
	○	a	ラック棒	変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		異常音		中		S		S	異常音がないこと。		
保 護 装 置	○	a	過負荷防止機構	作動状況		前		D		D	正常に作動すること。		
	○	a	制限開閉器	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
○	a	リミットスイッチ	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。			
開 度 計		b	機械式	作動状況		中		D		D	実揚程と指針表示が合致していること。		
		c		盤面の曇り		前		E		E	表示窓が透明で、視認に支障がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式		ラック式開閉装置									
設備に要求される機能		点 検 *3											
装置区分	点検・整備		項目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	*8 判定	備 考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
中間 振 止		b	変形		前		E	(地)	E	変形がないこと。			
		b	損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。			
		b	ラック棒との干渉		中		E		E	ラック棒と干渉しないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名				機側操作盤									
設備に要求される機能				点 検 *3								*8	
装置区分	点検・整備			内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影 響 度 機 能 合 対 響 能 対 する	項 目				管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
全 般	b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E	E		E	ひどい汚れ，ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ，腐食がないこと。			
			破損		前	E	E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。			
			塗装状況		前		E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
			内部温度・湿度状態		前		E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。			
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い，1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ		前		E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
			変色		前		E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
			端子のゆるみ		断		E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。			
			異常音		中		S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。			
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前		E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が，±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法
リ レ ー 類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D	D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
ス イ ッ チ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名				機側操作盤									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3								*8 判定	備考
	*1 重要 機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期		判定方法		
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト	中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。			
	○	a	出力ユニット	作動テスト	中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。			
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）	前		D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。			
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト	前		D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。			
表示灯		b	表示灯	ランプテスト	前		D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。			
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ	前		D	(地) (雷)	D	点灯すること。			
指示計		b	開度指示計	指示	中		D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。			
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト	前		D	D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。		
		a		異常音	前		S	D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。		
		a		接点	前		D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。			
		b	漏電継電器	作動テスト	中		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
	b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
	c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他	b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管	b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

設備区分： レベルⅡ
稼働形態： 常用系設備

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E		E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。				
		外観	変形，損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
扉体	a	構造全体	振動	中	H		H		M	異常振動がないこと。				
			異常音	中	S		S		S	異常音がないこと。				
			片吊り	前			E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。				
	○	スキンプレート	変形	前			E		E	変形がないこと。				
			損傷	前	E		E		E	損傷がないこと。				
			板厚の減少	前					M	測定結果により判定のこと。				
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前						M	測定結果により判定のこと。	
		b		腐食(孔食)		前			E		E	E	腐食(孔食)がないこと。	
		b		溶接部の割れ		前			E		E	E	割れがないこと。	
		b	クサビ	損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		扉体圧着状態		前			E	(地) (洪)	E	水密ゴムと戸当りに隙間がないこと。		
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	E	腐食(孔食)がないこと。	

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影 響 能 力 対 する 合 格 率					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
扉体		b	リベット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
支承部	○	a	摺動板	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		a		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		摺動状態		中	D		D		D	運転時に異常なく開閉すること。		
		b	サイドシュー	摩耗		前			E		E	摩耗がないこと。		
		b		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
吊り金物	○	a	吊り金物，吊りピン	損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
水密部	b	水密ゴム	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前			E		E	劣化がないこと。			
			漏水		有水			E		E	機能に支障がないこと。			
	b	ゴム押え板	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				戸当り				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考	
	*1 重要機器	*2 影機能に 対する 影響度合					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般		b	清掃状態	汚れ		前	E		E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。		
		b		ごみ, 流木, 土砂等		前	E		E	(洪)	E	戸溝内にごみ, 流木, 土砂等がないこと。		
		a	外観	変形, 損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷, 変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前			E		E	発錆, ふくれ, 亀裂, はく離, 変退色, 白亜化がないこと。		
取外し戸当り		b	レール	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。		
		b	補助レール	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				戸当り							
設備に要求される機能		点検・整備										点検 *3		*8		備考	
装置区分	*1 重要機器	*2 機能影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考				
							運転時点検	管理運転	年点検	*6 臨時				総合			
															基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎	
取外し戸当り		b	補助レール	腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。					
		b		溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。					
		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。					
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。					
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。					
埋設部		b	底部戸当り	変形		無水			E		E	変形がないこと。					
		b		損傷		無水			E		E	損傷がないこと。					
		b		腐食(孔食)		無水			E		E	腐食(孔食)がないこと。					
		b		溶接部の割れ		無水			E		E	割れがないこと。					

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|--|

施設名		ゲート形式				スライドゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合
埋 設 部	b	側部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	上部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水			E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置								
設備に要求される機能		点検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般		c	清掃状態	汚れ		前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
		b	外観	変形，損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
		b	塗装	損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
		b		劣化		前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
構造体	○	b	構造全体	振動		中			H		H	異常振動がないこと。		
		b		異常音		中			S		S	異常音がないこと。		
	○	b	架台	たわみ		前			E	(地)	E	たわみがないこと。		
		a		変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前			E	(地)	E	割れがないこと。		
	○	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E		E	損傷がないこと。		
b		腐食（孔食）			前			E		E	腐食（孔食）がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ・・・(地)
落雷時のみ・・・(雷)
洪水時のみ・・・(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置								
設備に要求される機能		点検・整備								点検 *3		*8		
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考	
							運転時点検	管理運転	年点検	*6 臨時				総合
動力部	○	a	主電動機	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
		a		温度上昇	○	中	H		M		M	異常な温度上昇がないこと。		
		b		電流値	○	中			M	(雷)	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。	管理運転時の電流値確認は機側操作盤点検項目に含む。	
		b		電圧値	○	中			M	(雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。	管理運転時の電圧値確認は機側操作盤点検項目に含む。	
		a		絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上あること。		
		a		内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
	b	内燃機関	b	始動性		前		D	D		D	円滑に始動できること。		
			b	振動		中		H	H		H	異常振動がないこと。		
			b	異常音		中		S	S		S	異常音がないこと。		
b			漏油		前		E	E	(地)	E	漏油がないこと。			
b			燃料油量		前		E	E		E	油面計の規定内であること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合
動力部	b	内燃機関	燃料劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
	b		冷却水量		前			E		E	規定内の量であること。			
	b		冷却水劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
	b		潤滑油量		前		E	E		E	油量計の規定内であること。			
	b		潤滑油劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。			
	b		エレメント目づまり(汚れ)		前			E		E	目づまり，ひどい汚れがないこと。			
	b		Vベルトゆるみ		前			H	(地)	H	適正な張りがあること。			
	b		Vベルト損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。			
	b		排気管損傷		前			E	(地)	E	断熱材，配管に損傷がないこと。			
	b		バッテリー液量		前			E		M	液量が規定内であること。			
	b		バッテリー比重		前			M		M	比重が規定内であること。			
	b		内部状態		休						W	構成部品に損傷，異常な摩耗がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		開閉装置形式					ラック式開閉装置								
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合	
															基本周期 2ヶ月毎
動力部		b	手動装置	作動状況		中		D	D		D	円滑に開閉操作ができること。			
		b		操作力		中				M	M	操作力が100N以下であること。			
制動部	○	a	制動機構（セルフロック）	作動状況		前				D	D	扉体が降下しないこと。			
	○	b	遠心ブレーキ	外観		前				E	E	発錆がないこと。			
		b		ライニングの摩耗	○	前				M	M	ライニング厚1mm以上のこと。			
		a		作動状況		中					D	D	自重降下すること。		
		b		自重降下速度		中					M	M	6m/min以下または開閉装置の仕様通りのこと。		
減速装置	○	a	本体（減速機）	振動		中	H			H	H	異常振動がないこと。			
		a		異常音		中	S			S	S	異常音がないこと。			
		a		温度上昇		中					H	M	異常な温度上昇がないこと。		
		a		漏油		前	E				E	(地)	E	漏油がないこと。	
		a		潤滑油量		前					E		E	油面計の規定内であること。	

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		開閉装置形式					ラック式開閉装置							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
減速装置	○	a	本体（減速機）	潤滑油劣化		前			E		E	ひどい濁りがなく、乳白色化していないこと。		
		a		内部状態		休					W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。		
動力伝達部	○	a	切替装置	作動状況		前		D	D		W	円滑に切換ができること。		
	○	a	連動軸	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	軸継手	振動		中	H		H		H	異常振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		S		S	異常音がないこと。		
		b		芯振れ	○	中						M	異常な芯振れがないこと。	
b		給油状態			休				E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
a	内部状態		休							W	構成部品に損傷、異常な摩耗がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式					ラック式開閉装置							
設備に要求される機能		点検・整備												
装置区分	点検・整備		点 検 *3										*8 判定	備考
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期		判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
扉 体 駆 動 部	○	a	ラックピン	摩耗	○	前	E		E, M		M	開閉装置メーカーに許容値を確認のこと。		
		b		給油状態		前			E, H		E, H	ラックピンにグリースが付着していること。		
	○	a	ラック棒	変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		異常音		中			S		S	異常音がないこと。		
保 護 装 置	○	a	過負荷防止機構	作動状況		前			D		D	正常に作動すること。		
	○	a	制限開閉器	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
○	a	リミットスイッチ	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。			
開 度 計		b	機械式	作動状況		中			D		D	実揚程と指針表示が合致していること。		
		c		盤面の曇り		前			E		E	表示窓が透明で、視認に支障がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		開閉装置形式				ラック式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 機 能 度 合 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
中 間 振 止		b	中間振止	変形		前			E	(地)	E	変形がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		ラック棒との干渉		中			E		E	ラック棒と干渉しないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名												機側操作盤			
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備 考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 度 対 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合	
															基本周期 2ヶ月毎
全 般		b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E		E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ、腐食がないこと。			
		b		破損		前	E		E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。			
		b		塗装状況		前			E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
		b		内部温度・湿度状態		前			E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。			
		a		絶縁抵抗		○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。		
		b	機器，計器類共通	汚れ		前			E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
		b		変色		前			E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
		b		端子のゆるみ		断			E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。			
		b		異常音		中			S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。			
	計 器 類		b	電流計	電流値		○	中	E		M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。	
b			0点確認			前			E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
		b	電圧計	電圧値		○	中	E		M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		機側操作盤												
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期				
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
リ レ ー 類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D		D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
ス イ ッ チ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中			M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|---|--|

施設名												機側操作盤			
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					*8	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時					総 合
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。			
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。			
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前			D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。			
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。			
表 示 灯		b	表示灯	ランプテスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。			
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前			D	(地) (雷)	D	点灯すること。			
指 示 計		b	開度指示計	指示		中			D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。			
開 閉 器 類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	異常なく動作すること。			
		a		異常音		前	S		D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。			
		a		接点		前			D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。			
		b	漏電継電器	作動テスト		中			D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|--|

施設名								機側操作盤						
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期					不 定 期		判定方法
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。			
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。			
		b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
		c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他		b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
		b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管		b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

点 検 記 録 表 (案)

扉体形式 : 起伏ゲート

開閉装置形式 : 油圧シリンダ式

設備区分： レベル I
稼働形態： 待機系設備

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		扉体						
設備に要求される機能												
装置区分	点検・整備			点 検 *3					*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 合 对 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期				不 定 期	
							管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。		
			ごみ，流木，土砂等		前	E	E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。		
		外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。		
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
扉体	a	構造全体	振動		中	H	H		M	異常振動がないこと。		
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。		
			片吊り		前		E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。		
	○	スキンプレート	変形		前		E		E	変形がないこと。		
			損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。		
			板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。		
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート				扉体					
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 合 对 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	
													基本周期 1ヶ月毎
判定方法		判定											
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。		
	○	a	シリンダ接続部，軸	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	正常に回転すること。		
	c	スポイラ	変形		前		E		E	変形がないこと。			
	c		損傷		前		E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			*6 臨 時	総 合	判定方法	
							管 理 運 転						年 点 検
							基本周期 1ヶ月毎						基本周期 1年毎
扉体		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
支承部	○	a	ヒンジ部ボス，軸	摩耗		前				M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	正常に回転すること		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ・・・(地)
落雷時のみ・・・(雷)
洪水時のみ・・・(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
水密部	b	水密ゴム	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	劣化がないこと。			
			漏水		有水		E		E	機能に支障がないこと。			
	b	ゴム押え板	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		戸当り						
設備に要求される機能												
装置区分	点検・整備			点 検 *3				*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 対 合 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期		
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合
全 般	b	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。		
			ごみ, 流木, 土砂等		前	E	E	(洪)	E	戸溝内にごみ, 流木, 土砂等がないこと。		
	a	外観	変形, 損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷, 変形がないこと。		
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			劣化		前		E		E	発錆, ふくれ, 亀裂, はく離, 変退色, 白亜化がないこと。		
支 承 部	○	ヒンジ軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
			損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
			給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
			回転状況		中	D	D		D	正常に回転すること。		
	b	ボルト, ナット	ゆるみ, 脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみ, 脱落がないこと。		
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート				戸当り					
設備に要求される機能		点 検 *3											
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	*8 判定	備 考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
埋設部	b	底部戸当り	変形		無水		E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。			
	b	側部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水		E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
油圧シリンダ		c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ, 油等の付着がないこと。		
		b	外観	変形, 損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷, 変形がないこと。		
		c	全般	水滴の付着		前	E	E		E	水滴が付着していないこと。		
		b		塗装状態		前		E		E	発錆, ふくれ, 亀裂, はく離, 変退色, 白亜化がないこと。		
		b		スティックスリップ、ビビリ等の振動、異常音		中		S, H	(地)	S, H	異常音, 異常振動がないこと。		
		b	ピストンロッド	すべり面(メッキ)の損傷		前		E		E	損傷がないこと。		
		b		ロッド部の発錆		前		E		E	発錆がないこと。		
		a		ロッドパッキン部の油漏れ		前, 後	E	E	(地)	E	油漏れのないこと。		
		a		曲り		前		E, M		E, M	目視で曲りが生じていないこと。		
		b	キャップ, ヘッドカバー	ボルトナットのゆるみ		前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。		
		b		油漏れ		前, 後	E	E	(地)	E	油漏れがないこと。		
		○	a	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量 (内部油漏れ)	○	中		M	M	扉体のずれ落ち量が規定値以下であること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
油圧シリンダ	○	軸受部	給油状態		前		E		E	古い油が排出されていること。			
			ボルトナットのゆるみ		前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。			
			回転状態		中		S	(地)	S	異常音がないこと。			
			損傷		前	E	E	(地)	E	損傷のないこと。			
油圧シリンダ 架台	○	アンカボルト	ゆるみ		前		H	(地)	H	ねじのゆるみなどがないこと。			
			曲り		前		H	(地)	H	曲りなども変形がないこと。			
			損傷		前		H	(地)	H	亀裂，割れなどの損傷などがないこと。			
	○	梁，桁	曲り		前	E	E	(地)	E	曲りなども変形がないこと。			
			損傷		前	E	E	(地)	E	亀裂，割れなどの損傷などがないこと。			
			振動		中		H	(地)	H	異常振動のないこと			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|---|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 合 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
油圧ユニット	○	c	油圧ユニットの内外面	内外面の汚れ		前	E	E		E	水滴，ほこりの付着がないこと。		
		c		塗装の状態		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
		c		銘板類の損傷		前		E	(地)		脱落，汚損がないこと。		
	○	b	油タンク	油圧ユニット設置床面油漏れ		前，後	E	E	(地)	E	油溜りや油が滴下した形跡がないこと。		
		b		油タンク上面油漏れ		前，後		E	(地)	E	油溜りがないこと。		
		a		油面	○	前	E	E	(地)	E	油面計に印された正常な範囲にあること。		
		b		水抜き		休		E		E	油中に水分が混入していないこと。		
		a		油温		中	E	M	(地)	M	通常の開閉運転による作動油の温度上昇が規定値以下であること。		
	○	a	油タンク付属品	取付け部油漏れ		前	E	E	(地)	E	油面計取付け部，ドレンバルブ，マンホール蓋取付け部からの油漏れがないこと。		
		b		エアブリーザ		前		W		W	フィルタにゴミつまり，発錆等がなく清浄であること。		
		b		油面検出スイッチ		前		D	(地)	D	検出スイッチの作動が正常であること。油面検出部に付着物や発錆がないこと。		
		b		油タンク内の清掃状況		前				W	油タンク内面及びタンク内取付品には，発錆や付着物がなく清浄な状態にあること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 合 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
油圧ユニット	○	b	油タンク付属品	端子箱		前		E	(雷)	E	端子箱の内部に水分やほこり等の付着がないこと。端子箱内面や結線部が錆付いていないこと。端子接続部にゆるみを生じていないこと。		
				a	絶縁抵抗	○	前		M	(雷)	M	各電気機器，結線について絶縁抵抗試験を行い，規定値以上の抵抗値を有することを確認すること。	
	○	a	電動機	油圧ポンプとの芯出し		前		S	(地)	S	取付ボルト・ナットにゆるみがなく、異常音、振動等の異常が認められないこと。		
				取付ボルトの締付け		前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。		
				軸受部の騒音		中		S	(地)	S	異常音がないこと。		
				軸受部の発熱		中		M	(地)	M	発熱が許容値以下であること。		
				電流値	○	中		M	(地)	M	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること。		
				電圧値	○	中		M	(地)	M	作動時の電圧降下が±10%以下であること。		
				絶縁抵抗	○	前		M	(地) (雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上		
				端子箱の点検		前		E	(雷)	E	端子接続部にゆるみがないこと。端子箱内に結露，錆付き等がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置										
設備に要求される機能		点検 *3												
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	*8 判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合				
														基本周期 1ヶ月毎
油圧ユニット	○	c	軸継手 (チェンカップリング)	カバーの取付け状況		前		E		E	取付ボルトにゆるみがないこと。			
		a		カップリングの異常音		中	S	S	(地)	S	異常音がないこと。			
		a		カップリングの振動		中			E, H	(地)	E, H	異常振動がないこと。		
		b		給油状況		前			W		W	カバー内にグリースが充填されていること。		
		a		チェンの取付け状況		前			W		W	チェンは確実に取付けられていること。		
		a		チェンの異常摩耗の有無		前			W		W	チェン，チェン歯車に異常摩耗が生じていないこと。		
	○	a	油圧ポンプ	吐出圧力		中	D	D	(地)	D	油圧ポンプオンロードにより規定圧力まで昇圧すること。			
		a		異常音		中	S	S	(地)	S	異常音がないこと。			
		a		異常振動		中			E, H	(地)	E, H	異常振動がないこと。		
		a		発熱		中	○		M	(地)	M	ポンプ表面温度と油圧ポンプ運転時の吸い込み作動油との温度差が許容値以下であること。		
	b		ポンプ取付ボルト 配管フランジ取付ボルト		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみが生じていないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
油圧ユニット	○	a	圧力制御弁	主回路リリーフ弁		中	D	D	(地)	D	昇圧しない、圧力が不安定で変動する、応答性が悪い、異常音、振動の発生等の不具合現象が生じないこと。		
		a		油圧シリンダヘッド側回路リリーフ弁(または減圧弁)		中		D	(地)	D	ゲート運転中、油圧シリンダの閉側圧力がヘッド側リリーフ弁(または減圧弁)の設定圧力以上に昇圧しないこと。閉側圧力が不安定で変動したり、異常音や振動の発生がないこと。		
	○	a	方向制御弁	ゲート開閉方向制御弁		中	D	D	(地)	D	「開運転」「閉運転」押釦により方向制御弁が正常に切り替わること。		
		a		主回路リリーフ弁の切換弁(アンロード回路付の場合)		中	E, D	E, D	(地)	E, D	ポンプ起動後、一定時間経過の後切換弁が正常に作動し、昇圧すること。		
		a		アキュムレータ回路切換弁(アキュムレータ付の場合)		中		D	(地)	D	電氣的信号によりアキュムレータ回路の切換弁が正常に作動しアキュムレータが on・off 状態になること。		
		a		発熱		中		M	(地)	M	切換時、あるいは切換後ソレノイド(電磁石)部分が100℃以上の高温にならないこと。		
		a		騒音		中	S	S	(地)	S	切換時、あるいは切換後ソレノイド(電磁石)部分から、うなり音を生じないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
						基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	a	パイロット チェックバルブ	運転時の開放状態		中		D		D	規定の圧力値でバルブが正常に作動すること。		
		a		ゲート中間開度保持の ずり落ち	○	断		M	(地)	M	中間開度停止時の、ゲートずり落ち量が許容値以下であること。		
		a		チャタリング現象の有無		中		S		S	運転中、パイロットチェックバルブが開、閉を繰り返す(チャタリング現象)、激しい騒音、振動を伴う現象を生じないこと。		
	○	a	逆止弁	ポンプ吐出ライン		中		D		D	バルブが正常に作動すること。		
		a		サクシオンライン		中		S	(地)	S	ゲート自重下降時サクシオンラインからの吸込みが正常であること。ポンプ運転による閉運転時サクシオンラインから油がタンクに戻らないこと。		
	○	a	流量調整弁	作動状態		中		E	(地)	D	開閉速度が規定の範囲に制御されており、大幅な変化が認められないこと。		
		b		設定目盛り		前		E	(地)	M	設定目盛りに変化がないこと。		
	○	a	圧力スイッチ	作動状態		中		E, D	(地)	E, D	スイッチが設定圧力で正常に作動すること。		
		a		配管接続部からの油漏れ		前	E	E	(地)	E	配管接続部からの油の漏れがないこと。		
		b		内部状態		前	E	E		E	端子接続部の締め付けが十分で内部に結露、発錆等がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能		点検・整備		点 検 *3				*8	備考			
装置区分	*1 重要 機器	*2 機 能 に 対 す る 影 響 度 合	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期		
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合
								基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎			
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	b	圧力計	内部の結露		前		E		E	圧力計の内部に水滴の付着やくもりを生じていないこと。	
				指針の振れ		中		E	(地)	E	運転中圧力計の針が激しく振れないこと。零点表示の確認。	
				ポンプ圧力計	○	中	E	E	(地)	E	油圧ポンプオンロードにより正常にリリースバルブ設定圧力を指示すること。	
				油圧シリンダ開側、閉側圧力計		中		E	(地)	E	ゲート開閉運転時、油圧シリンダの開側、閉側圧力が従来の運転時に比較し、大きく変動しないこと。	
	○	a	フィルタ	サクシオンフィルタ ラインフィルタ		中	E	E	E	電気式検知のものについては、「フィルタ目詰り」の表示ランプが点灯しないこと。直読式のものについては、フィルタ目詰りを示すインジケータの針が目詰りゾーンに位置していないこと。		
	b	アキュムレータ	ガス漏れ	○	前		M	(地)	M	ガス封入圧力が規定値にあること。またガス封入口付近からのガス漏れがないこと。		
			配管接続部からの漏れ		前	E	E	(地)	E	配管接続部からの油の漏れがないこと。		
			アキュムレータへの圧油チャージ作動の確認		中		M		M	アキュムレータ内圧力低下信号により、ポンプが起動し、アキュムレータ内に圧油が送り込まれ、所定の圧力まで上昇したら昇圧信号によりポンプが停止すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する					管理 運転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
油圧配管	○	配管部	管継手部の漏油(フランジ、ニップル、ユニオン、ソケットなど)	前，後	E	E	(地)	E	ウェスで清掃して、新たに油がにじみ出ないこと				
			管溶接部の割れ(フランジ、ソケット管固定部など)	前	E	E	(地)	E	割れがないこと。				
			配管の割れ	前	E	E	(地)	E	割れがないこと。				
			管汚れ	前		E		E	管の汚れがないこと。				
			塗装	前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
			フレキシブルチューブの劣化	前		E	(地)	E	表面劣化(割れなど)のないこと。継手部に漏油のないこと。				
			バルブ不具合	前		D		D	ハンドルの回転などが正常であること。				
	配管接続部	b	ボルトナットのゆるみ	前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。				
		a	油漏れ	前	E	E	(地)	E	油漏れがないこと。				
	配管固定部	b	管固定部のゆるみ	前		H	(地)	H	配管の振動，ねじのゆるみなどがないこと。				
	配管周辺	c	ピット内汚れ	前		E		E	塵芥の堆積のないこと。				
		c	ピット内水溜り	前		E		E	水たまりのないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
								基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎				
作動油	○	a	作動油	作動油の分析	○	後		M		M	色，粘度変化率，全酸化，水分，汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと。		
保護装置	○	a	制限開閉器	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	リミットスイッチ	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
開度計		b	電気式開度計 (直接検出式)	開度指示		中		E	(地)	E	ゲート全閉時に開度表示が全閉を表示していること。		
埋設部		b	アンカ部の コンクリート	ひび、割れの有無		前		E	(地)	E	ひび、割れないこと		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
全 般	b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E	E		E	ひどい汚れ，ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ，腐食がないこと。			
			破損		前	E	E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。			
			塗装状況		前		E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
			内部温度・湿度状態		前		E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。			
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い，1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ		前		E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
			変色		前		E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
			端子のゆるみ		断		E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。			
			異常音		中		S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。			
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前		E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が，±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名				機側操作盤									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法
							管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
リ レ ー 類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D	D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
ス イ ッ チ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名						機側操作盤							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前		D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
表示灯		b	表示灯	ランプテスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。		
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前		D	(地) (雷)	D	点灯すること。		
指示計		b	開度指示計	指示		中		D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。		
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。		
		異常音			前	S	D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。			
		接点			前		D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。			
		b	漏電継電器	作動テスト		中		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				判定方法
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎					
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
	b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
	c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他	b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管	b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

設備区分： レベル I
稼働形態： 常用系設備

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響度 に対する					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E		E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。				
		外観	変形，損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
扉体	a	構造全体	振動	中	H		H		M	異常振動がないこと。				
			異常音	中	S		S		S	異常音がないこと。				
			片吊り	前			E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。				
	○	スキンプレート	変形	前			E		E	変形がないこと。				
			損傷	前	E		E		E	損傷がないこと。				
			板厚の減少	前					M	測定結果により判定のこと。				
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考	
	*1 重要機器	*2 影 響 能 力 対 する 合 格 率					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前					M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。		
	○	a	シリンダ接続部，軸	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	正常に回転すること。		
c	c	スポイラ	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期					不定期		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	判定方法
扉体		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
支承部	○	a	ヒンジ部ボス，軸	摩耗		前					M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	D	正常に回転すること	

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
水密部	b	水密ゴム	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前			E		E	劣化がないこと。			
			漏水		有水			E		E	機能に支障がないこと。			
	b	ゴム押え板	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				戸当り			
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考	
	*1 重要 機器	*2 影機 響能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合
判定方法		判定											
全般	b	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。			
			ごみ，流木，土砂等	前	E		E	(洪)	E	戸溝内にごみ，流木，土砂等がないこと。			
	a	外観	変形，損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。			
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。			
			劣化	前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。			
支承部	○	ヒンジ軸受	摩耗	前			E		M	摩耗がないこと。			
			損傷	前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			給油状態	前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
			回転状況	中	D		D		D	正常に回転すること。			
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落	前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。			
			損傷	前			E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		戸当り								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期				不定期			
							運 転 時 点 検	管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
埋 設 部		b	底部戸当り	変形		無水			E		E	変形がないこと。		
				損傷		無水			E		E	損傷がないこと。		
				腐食(孔食)		無水			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
				溶接部の割れ		無水			E		E	割れがないこと。		
		b	側部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
				損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
				腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
				溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。		
		b	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。	
					コンクリートの漏水		有水			E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと	

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前, 中, 後, 休, 断有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置										
設備に要求される機能		点検・整備														
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	*3 点 検			*6 臨時	総合	判定方法	*8 判定	備考		
	*1 重要機器	*2 影響能 度に対する					定期								不定期	
							運転 時点検	管理 運転	年点 検							
						基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎									
油圧シリンダ		c	清掃状態	汚れ		前	E		E		E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。				
		b	外観	変形、損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷、変形がないこと。				
		c	全般	水滴の付着		前	E		E		E	水滴が付着していないこと。				
		b		塗装状態		前			E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと。				
		b		スティックスリップ、ビビリ等の振動、異常音		中			S, H	(地)	S, H	異常音、異常振動がないこと。				
		b	ピストンロッド	すべり面(メッキ)の損傷		前			E		E	損傷がないこと。				
		b		ロッド部の発錆		前			E		E	発錆がないこと。				
		a		ロッドパッキン部の油漏れ		前, 後	E		E	(地)	E	油漏れのないこと。				
		a		曲り		前			E, M		E, M	目視で曲りが生じていないこと。				
		b	キャップ, ヘッドカバー	ボルトナットのゆるみ		前			H	(地)	H	ゆるみがないこと。				
		b		油漏れ		前, 後	E		E	(地)	E	油漏れがないこと。				
		○	a	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	○	中		M		M	扉体のずれ落ち量が規定値以下であること。				

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
油圧シリンダ	○	軸受部	給油状態		前			E		E	古い油が排出されていること。			
			ボルトナットのゆるみ		前			H	(地)	H	ゆるみがないこと。			
			回転状態		中			S	(地)	S	異常音がないこと。			
			損傷		前	E		E	(地)	E	損傷のないこと。			
油圧シリンダ架台	○	アンカボルト	ゆるみ		前			H	(地)	H	ねじのゆるみなどがいないこと。			
			曲り		前			H	(地)	H	曲りなども変形がないこと。			
			損傷		前			H	(地)	H	亀裂，割れなどの損傷などがいないこと。			
	○	梁，桁	曲り		前	E		E	(地)	E	曲りなども変形がないこと。			
			損傷		前	E		E	(地)	E	亀裂，割れなどの損傷などがいないこと。			
			振動		中			H	(地)	H	異常振動のないこと			

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	判定
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎						
油 圧 ユ ニ ッ ト		c	油圧ユニットの内外面	内外面の汚れ		前	E		E		E	水滴，ほこりの付着がないこと。		
		c		塗装の状態		前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
		c		銘板類の損傷		前			E	(地)		脱落，汚損がないこと。		
	○	油タンク	b	油圧ユニット設置床面油漏れ		前，後	E		E	(地)	E	油溜りや油が滴下した形跡がないこと。		
			b	油タンク上面油漏れ		前，後			E	(地)	E	油溜りがないこと。		
			a	油面	○	前	E		E	(地)	E	油面計に印された正常な範囲にあること。		
			b	水抜き		休			E		E	油中に水分が混入していないこと。		
			a	油温		中	E		M	(地)	M	通常の開閉運転による作動油の温度上昇が規定値以下であること。		
		油タンク付属品	a	取付け部油漏れ		前	E		E	(地)	E	油面計取付け部，ドレンバルブ，マンホール蓋取付け部からの油漏れがないこと。		
			b	エヤブリーザ		前			W		W	フィルタにゴミつまり，発錆等がなく清浄であること。		
			b	油面検出スイッチ		前			D	(地)	D	検出スイッチの作動が正常であること。油面検出部に付着物や発錆がないこと。		
			b	油タンク内の清掃状況		前					W	油タンク内面及びタンク内取付品には，発錆や付着物がなく清浄な状態にあること。		

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	判定		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検					*6 臨 時	総 合
						基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎								
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	b	油タンク付属品	端子箱		前			E	(雷)	E	端子箱の内部に水分やほこり等の付着がないこと。端子箱内面や結線部が錆付いていないこと。端子接続部にゆるみを生じていないこと。			
		a		絶縁抵抗		○	前			M	(雷)	M	各電気機器、結線について絶縁抵抗試験を行い、規定値以上の抵抗値を有することを確認すること。		
	○	a	電動機	油圧ポンプとの芯出し			前			S	(地)	S	取付ボルト・ナットにゆるみがなく、異常音、振動等の異常が認められないこと。		
		b		取付ボルトの締付け			前			H	(地)	H	ゆるみがないこと。		
		a		軸受部の騒音			中				S	(地)	S	異常音がないこと。	
		a		軸受部の発熱			中				M	(地)	M	発熱が許容値以下であること。	
		b		電流値		○	中				M	(地)	M	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること。	
		b		電圧値		○	中				M	(地)	M	作動時の電圧降下が±10%以下であること。	
		a		絶縁抵抗		○	前				M	(地) (雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上	
		b		端子箱の点検			前				E	(雷)	E	端子接続部にゆるみがないこと。端子箱内に結露、錆付き等がないこと。	

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 対 合 ず る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	c	軸継手 (チェンカップリン グ)	カバーの取付け状況		前			E		E	取付ボルトにゆるみがないこと。		
		a		カップリングの異常音		中	S		S	(地)	S	異常音がないこと。		
		a		カップリングの振動		中			E, H	(地)	E, H	異常振動がないこと。		
		b		給油状況		前			W		W	カバー内にグリースが充填されていること。		
		a		チェンの取付け状況		前			W		W	チェンは確実に取付けられていること。		
		a		チェンの異常摩耗の有無		前			W		W	チェン，チェン歯車に異常摩耗が生じていないこと。		
	○	a	油圧ポンプ	吐出圧力		中	D		D	(地)	D	油圧ポンプオンロードにより規定圧力まで昇圧すること。		
		a		異常音		中	S		S	(地)	S	異常音がないこと。		
		a		異常振動		中			E, H	(地)	E, H	異常振動がないこと。		
		a		発熱		○	中		M	(地)	M	ポンプ表面温度と油圧ポンプ運転時の吸い込み作動油との温度差が許容値以下であること。		
	b		ポンプ取付ボルト 配管フランジ取付ボルト		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみが生じていないこと。			

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前, 中, 後, 休, 断有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|---|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能		点 検 *3												
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	*8 判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影 響 能 度 対 する					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	a	圧力制御弁	主回路リリーフ弁		中	D		D	(地)	D	昇圧しない、圧力が不安定で変動する、応答性が悪い、異常音、振動の発生等の不具合現象が生じないこと。		
		a		油圧シリンダヘッド側回路リリーフ弁(または減圧弁)		中			D	(地)	D	ゲート運転中、油圧シリンダの閉側圧力がヘッド側リリーフ弁(または減圧弁)の設定圧力以上に昇圧しないこと。閉側圧力が不安定で変動したり、異常音や振動の発生がないこと。		
	○	a	方向制御弁	ゲート開閉方向制御弁		中	D		D	(地)	D	「開運転」「閉運転」押釦により方向制御弁が正常に切り替わること。		
		a		主回路リリーフ弁の切換弁(アンロード回路付の場合)		中	E, D		E, D	(地)	E, D	ポンプ起動後、一定時間経過の後切換弁が正常に作動し、昇圧すること。		
		a		アキュムレータ回路切換弁(アキュムレータ付の場合)		中			D	(地)	D	電氣的信号によりアキュムレータ回路の切換弁が正常に作動しアキュムレータが on・off状態になること。		
		a		発熱		中			M	(地)	M	切換時、あるいは切換後ソレノイド(電磁石)部分が100℃以上の高温にならないこと。		
a	騒音		中	S		S	(地)	S	切換時、あるいは切換後ソレノイド(電磁石)部分から、うなり音を生じないこと。					

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置											
設備に要求される機能																	
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考						
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合			
							基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎									
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	a	パイロット チェックバルブ	運転時の開放状態		中			D		D	規定の圧力値でバルブが正常に作動すること。					
		a		ゲート中間開度保持の ずり落ち		○	断				M	(地)	M	中間開度停止時の、ゲートずり落ち量が許容値以下であること。			
		a		チャタリング現象の有無			中					S	S	運転中、パイロットチェックバルブが開、閉を繰り返す(チャタリング現象)、激しい騒音、振動を伴う現象を生じないこと。			
	○	a	逆止弁	ポンプ吐出ライン			中				D		D	バルブが正常に作動すること。			
		a		サクシヨンライン			中					S	(地)	S	ゲート自重下降時サクシヨンラインからの吸込みが正常であること。ポンプ運転による閉運転時サクシヨンラインから油がタンクに戻らないこと。		
	○	a	流量調整弁	作動状態			中				E	(地)	D	開閉速度が規定の範囲に制御されており、大幅な変化が認められないこと。			
		b		設定目盛り			前					E	(地)	M	設定目盛りに変化がないこと。		
	○	a	圧力スイッチ	作動状態			中				E, D	(地)	E, D	スイッチが設定圧力で正常に作動すること。			
		a		配管接続部からの油漏れ			前	E				E	(地)	E	配管接続部からの油の漏れがないこと。		
		b		内部状態			前					E		E	端子接続部の締め付けが十分に内部に結露、発錆等がないこと。		

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期			判定方法	判定	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時					総 合
油 圧 ユ ニ ッ ト	○	b	圧力計	内部の結露		前			E		E	圧力計の内部に水滴の付着やくもりを生じていないこと。			
		b		指針の振れ		中			E	(地)	E	運転中圧力計の針が激しく振れないこと。零点表示の確認。			
		a		ポンプ圧力計		○	中	E		E	(地)	E	油圧ポンプオンロードにより正常にリリースバルブ設定圧力を指示すること。		
		a		油圧シリンダ開側、閉側圧力計		中			E	(地)	E	ゲート閉閉運転時、油圧シリンダの開側、閉側圧力が従来の運転時に比較し、大きく変動しないこと。			
	○	a	フィルタ	サクシオンフィルタ ラインフィルタ		中	E		E	E	電気式検知のものについては、「フィルタ目詰り」の表示ランプが点灯しないこと。直読式のものについては、フィルタ目詰りを示すインジケータの針が目詰りゾーンに位置していないこと。				
	○	b	アキュムレータ	ガス漏れ		○	前			M	(地)	M	ガス封入圧力が規定値にあること。またガス封入口近からのガス漏れがないこと。		
		b		配管接続部からの漏れ		前	E			E	(地)	E	配管接続部からの油の漏れがないこと。		
		b		アキュムレータへの圧油チャージ作動の確認		中			M		M	アキュムレータ内圧力低下信号により、ポンプが起動し、アキュムレータ内に圧油が送り込まれ、所定の圧力まで上昇したら昇圧信号によりポンプが停止すること。			

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影機能に 度合 に対する					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
油 圧 配 管	○	配管部	管継手部の漏油(フランジ、ニップル、ユニオン、ソケットなど)	前，後	E	E	(地)	E	ウェスで清掃して、新たに油がにじみ出ないこと					
			管溶接部の割れ(フランジ、ソケット管固定部など)	前	E	E	(地)	E	割れないこと。					
			配管の割れ	前	E	E	(地)	E	割れないこと。					
			管汚れ	前		E		E	管の汚れがないこと。					
			塗装	前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。					
			フレキシブルチューブの劣化	前		E	(地)	E	表面劣化(割れなど)のないこと。継手部に漏油のないこと。					
			バルブ不具合	前		D		D	ハンドルの回転などが正常であること。					
		配管接続部	ボルトナットのゆるみ	前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。					
			油漏れ	前	E	E	(地)	E	油漏れがないこと。					
		配管固定部	管固定部のゆるみ	前		H	(地)	H	配管の振動，ねじのゆるみなどがないこと。					
		配管周辺	ピット内汚れ	前		E		E	塵芥の堆積のないこと。					
			ピット内水溜り	前		E		E	水たまりのないこと。					

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時
				基本周期 1ヶ月毎	基本周期 1年毎								
作動油	○	a	作動油	作動油の分析	○	後			M		M	色，粘度変化率，全酸化，水分，汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと。	
保護装置	○	a	制限開閉器	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。	
		a		変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。	
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。	
	○	a	リミットスイッチ	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。	
開度計		b	電気式開度計 (直接検出式)	開度指示		中			E	(地)	E	ゲート全閉時に開度表示が全閉を表示していること。	
埋設部		b	アンカ部の コンクリート	ひび、割れの有無		前			E	(地)	E	ひび、割れないこと	

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名												機側操作盤		
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	b	盤全般	清掃・塗装状態	前	E		E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ、腐食がないこと。				
			破損	前	E		E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。				
			塗装状況	前			E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。				
			内部温度・湿度状態	前			E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。				
			絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ	前			E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。				
			変色	前			E	(地) (雷)	E	変色がないこと。				
			端子のゆるみ	断			E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。				
b		異常音	中			S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。					
計器類	b	電流計	電流値	○	中	E		M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。			
			0点確認		前			E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
	b	電圧計	電圧値	○	中	E		M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|

施設名		機側操作盤												
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能上影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期				
							運転時点検	管理運転	年点検	*6 臨時				総合
リレー類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D		D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
スイッチ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中			M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはP L Cの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名							機側操作盤							
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備		点 検 *3								*8 判定	備 考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前			D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
表 示 灯		b	表示灯	ランプテスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。		
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前			D	(地) (雷)	D	点灯すること。		
指 示 計		b	開度指示計	指示		中			D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。		
開 閉 器 類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	異常なく動作すること。		
		a		異常音		前	S		D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。		
		a		接点		前			D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。		
		b	漏電継電器	作動テスト		中			D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベル I	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名								機側操作盤						
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期					不定期		判定方法
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。			
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。			
		b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
		c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他		b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
		b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管		b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

設備区分： レベルⅡ
稼働形態： 待機系設備

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		扉体					
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				判定	備考		
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上影響度に対する項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期				不定期	
						管理運転	年点検			*6 臨時	総合
						基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎				
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。	
			ごみ，流木，土砂等		前	E	E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。	
		外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。	
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。	
			劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。	
扉体	a	構造全体	振動		中	H	H		M	異常振動がないこと。	
			異常音		中	S	S		S	異常音がないこと。	
			片吊り		前		E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。	
	○	スキンプレート	変形		前		E		E	変形がないこと。	
			損傷		前	E	E		E	損傷がないこと。	
			板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。	
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。	

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3						*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期				不 定 期		
							管 理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前				M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。		
	○	a	シリンダ接続部，軸	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	正常に回転すること。		
○	c	スポイラ	変形		前		E		E	変形がないこと。			
	c		損傷		前		E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		扉体							
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		*6 臨時	総合	判定方法	判定	備考
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検					
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
扉体		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地) (洪)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
支承部	○	a	ヒンジ部ボス，軸	摩耗		前				M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D	D		D	正常に回転すること		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		扉体							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3					*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
水密部	b	水密ゴム	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	劣化がないこと。			
			漏水		有水		E		E	機能に支障がないこと。			
	b	ゴム押え板	変形		前		E		E	変形がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート		戸当り							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3				*8 判定	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
全 般	b	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。			
			ごみ，流木，土砂等		前	E	E	(洪)	E	戸溝内にごみ，流木，土砂等がないこと。			
	a	外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。			
	b	塗装	損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。			
支 承 部	○	ヒンジ軸受	摩耗		前		E		M	摩耗がないこと。			
			損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			給油状態		前		E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
			回転状況		中	D	D		D	正常に回転すること。			
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前		E，H	(地)	E，H	ゆるみ，脱落がないこと。			
			損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式		起伏ゲート				戸当り					
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判 定 方 法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
埋 設 部	b	底部戸当り	変形		無水		E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水		E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		無水		E		E	割れがないこと。			
	b	側部戸当り	変形		前		E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前		E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前		E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水		E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置										
設備に要求される機能		点 検 *3						*8	備考					
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			*6 臨時	総 合	判定方法	判定	
	*1 重要機器	*2 影 響 能 度 合 計					管 理 運 転							年 点 検
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎						
油圧シリンダ		c	清掃状態	汚れ		前	E	E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。			
		b	外観	変形，損傷		前	E	E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。			
		c	全般	水滴の付着		前	E	E		E	水滴が付着していないこと。			
		b		塗装状態		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。			
		b		スティックスリップ、ビビリ等の振動、異常音		中		S, H	(地)	S, H	異常音，異常振動がないこと。			
		b	ピストンロッド	すべり面(メッキ)の損傷		前		E		E	損傷がないこと。			
		b		ロッド部の発錆		前		E		E	発錆がないこと。			
		a		ロッドパッキン部の油漏れ		前，後	E	E	(地)	E	油漏れのないこと。			
		a		曲り		前		E, M		E, M	目視で曲りが生じていないこと。			
		b	キャップ，ヘッドカバー	ボルトナットのゆるみ		前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。			
		b		油漏れ		前，後	E	E	(地)	E	油漏れがないこと。			
		○	a	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	○	中		M	M	扉体のずれ落ち量が規定値以下であること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 影 機 響 能 度 対 合 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判 定 方 法
								基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎				
油圧シリンダ	○	b	軸受部	給油状態		前		E		E	古い油が排出されていること。		
				ボルトナットのゆるみ		前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。		
				回転状態		中		S	(地)	S	異常音がないこと。		
				損傷		前	E	E	(地)	E	損傷のないこと。		
油圧シリンダ 架台	○	b	アンカボルト	ゆるみ		前		H	(地)	H	ねじのゆるみなどがないこと。		
				曲り		前		H	(地)	H	曲りなども変形がないこと。		
				損傷		前		H	(地)	H	亀裂，割れなどの損傷などがないこと。		
	○	a	梁，桁	曲り		前	E	E	(地)	E	曲りなども変形がないこと。		
				損傷		前	E	E	(地)	E	亀裂，割れなどの損傷などがないこと。		
				振動		中		H	(地)	H	異常振動のないこと		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|---|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上 影響度 に対する 項目	内 容	*4 トレ ンド 管理	*5 点 検 条 件	定 期				不定期			
						管理 運 転	年 点 検			*6 臨 時	総 合		
						基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎						
油 圧 ユ ニ ット	c	油圧ユニットの内外面	内外面の汚れ		前	E	E		E	水滴，ほこりの付着がないこと。			
			塗装の状態		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。			
			銘板類の損傷		前		E	(地)		脱落，汚損がないこと。			
	○	油タンク	油圧ユニット設置床面油漏れ		前，後	E	E	(地)	E	油溜りや油が滴下した形跡がないこと。			
			油タンク上面油漏れ		前，後		E	(地)	E	油溜りがないこと。			
			油面	○	前	E	E	(地)	E	油面計に印された正常な範囲にあること。			
			水抜き		休		E		E	油中に水分が混入していないこと。			
			油温		中	E	M	(地)	M	通常の開閉運転による作動油の温度上昇が規定値以下であること。			
	a	油タンク付属品	取付け部油漏れ		前	E	E	(地)	E	油面計取付け部，ドレンバルブ，マンホール蓋取付け部からの油漏れがないこと。			
			エアブリーザ		前			W	W	フィルタにゴミつまり，発錆等がなく清浄であること。			
			油面検出スイッチ		前			D	(地)	D	検出スイッチの作動が正常であること。油面検出部に付着物や発錆がないこと。		
			油タンク内の清掃状況		前				W	油タンク内面及びタンク内取付品には，発錆や付着物がなく清浄な状態にあること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置										
設備に要求される機能		点 検 *3						*8 判定	備考					
装置区分	点検・整備		内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期				*6 臨時	総合	判定方法		
	*1 重要機器	*2 機能 影 響 度 に 対 す る				項 目	管 理 運 転						年 点 検	不 定 期
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎						
油圧ユニット	○	b	油タンク付属品	端子箱		前		E	(雷)	E	端子箱の内部に水分やほこり等の付着がないこと。端子箱内面や結線部が錆付いていないこと。端子接続部にゆるみを生じていないこと。			
		a		絶縁抵抗		○	前		M	(雷)	M	各電気機器，結線について絶縁抵抗試験を行い，規定値以上の抵抗値を有することを確認すること。		
	○	a	電動機	油圧ポンプとの芯出し			前		S	(地)	S	取付ボルト・ナットにゆるみがなく、異常音、振動等の異常が認められないこと。		
		b		取付ボルトの締付け			前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。		
		a		軸受部の騒音			中		S	(地)	S	異常音がないこと。		
		a		軸受部の発熱			中		M	(地)	M	発熱が許容値以下であること。		
		b		電流値		○	中		M	(地)	M	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること。		
		b		電圧値		○	中		M	(地)	M	作動時の電圧降下が±10%以下であること。		
		a		絶縁抵抗		○	前		M	(地) (雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上		
		b		端子箱の点検			前		E	(雷)	E	端子接続部にゆるみがないこと。端子箱内に結露，錆付き等がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能に 影響度 に対する					管理 運転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
油圧ユニット	○	c	軸継手 (チェンカップリング)	カバーの取付け状況		前		E		E	取付ボルトにゆるみがないこと。		
		a		カップリングの異常音		中	S	S	(地)	S	異常音がないこと。		
		a		カップリングの振動		中		E, H	(地)	E, H	異常振動がないこと。		
		b		給油状況		前		W		W	カバー内にグリースが充填されていること。		
		a		チェンの取付け状況		前		W		W	チェンは確実に取付けられていること。		
		a		チェンの異常摩耗の有無		前		W		W	チェン，チェン歯車に異常摩耗が生じていないこと。		
	○	a	油圧ポンプ	吐出圧力		中	D	D	(地)	D	油圧ポンプオンロードにより規定圧力まで昇圧すること。		
		a		異常音		中	S	S	(地)	S	異常音がないこと。		
		a		異常振動		中		E, H	(地)	E, H	異常振動がないこと。		
		a		発熱		○	中		M	(地)	M	ポンプ表面温度と油圧ポンプ運転時の吸い込み作動油との温度差が許容値以下であること。	
	b		ポンプ取付ボルト 配管フランジ取付ボルト		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみが生じていないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検		*3		*8							
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			判定方法
油圧ユニット	○	a	圧力制御弁	主回路リリーフ弁		中	D	D	(地)	D	昇圧しない、圧力が不安定で変動する、応答性が悪い、異常音、振動の発生等の不具合現象が生じないこと。		
		a	油圧シリンダヘッド側回路リリーフ弁(または減圧弁)		中		D	(地)	D	ゲート運転中、油圧シリンダの閉側圧力がヘッド側リリーフ弁(または減圧弁)の設定圧力以上に昇圧しないこと。閉側圧力が不安定で変動したり、異常音や振動の発生がないこと。			
	○	a	方向制御弁	ゲート開閉方向制御弁		中	D	D	(地)	D	「開運転」「閉運転」押釦により方向制御弁が正常に切り替わること。		
		a		主回路リリーフ弁の切換弁(アンロード回路付の場合)		中	E, D	E, D	(地)	E, D	ポンプ起動後、一定時間経過の後切換弁が正常に作動し、昇圧すること。		
		a		アキュムレータ回路切換弁(アキュムレータ付の場合)		中		D	(地)	D	電氣的信号によりアキュムレータ回路の切換弁が正常に作動しアキュムレータがon・off状態になること。		
		a		発熱		中		M	(地)	M	切換時、あるいは切換後ソレノイド(電磁石)部分が100℃以上の高温にならないこと。		
		a		騒音		中	S	S	(地)	S	切換時、あるいは切換後ソレノイド(電磁石)部分から、うなり音を生じないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判 定 方 法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	a	パイロット チェックバルブ	運転時の開放状態		中		D		D	規定の圧力値でバルブが正常に作動すること。		
		a		ゲート中間開度保持の ずり落ち	○	断		M	(地)	M	中間開度停止時の、ゲートずり落ち量が許容値以下であること。		
		a		チャタリング現象の有無		中		S		S	運転中、パイロットチェックバルブが開、閉を繰り返す(チャタリング現象)、激しい騒音、振動を伴う現象を生じないこと。		
	○	a	逆止弁	ポンプ吐出ライン		中		D		D	バルブが正常に作動すること。		
		a		サクシオンライン		中		S	(地)	S	ゲート自重下降時サクシオンラインからの吸込みが正常であること。ポンプ運転による閉運転時サクシオンラインから油がタンクに戻らないこと。		
	○	a	流量調整弁	作動状態		中		E	(地)	D	開閉速度が規定の範囲に制御されており、大幅な変化が認められないこと。		
		b		設定目盛り		前		E	(地)	M	設定目盛りに変化がないこと。		
	○	a	圧力スイッチ	作動状態		中		E, D	(地)	E, D	スイッチが設定圧力で正常に作動すること。		
		a		配管接続部からの油漏れ		前	E	E	(地)	E	配管接続部からの油の漏れがないこと。		
		b		内部状態		前	E	E	E	E	端子接続部の締め付けが十分で内部に結露、発錆等がないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼働形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置							
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 機能 影響 度 合 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法	
							管理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	b	圧力計	内部の結露		前		E		E	圧力計の内部に水滴の付着やくもりを生じていないこと。		
				指針の振れ		中		E	(地)	E	運転中圧力計の針が激しく振れないこと。零点表示の確認。		
				ポンプ圧力計	○	中	E	E	(地)	E	油圧ポンプオンロードにより正常にリリーフバルブ設定圧力を指示すること。		
				油圧シリンダ開側、閉側圧力計		中		E	(地)	E	ゲート開閉運転時、油圧シリンダの開側、閉側圧力が従来の運転時に比較し、大きく変動しないこと。		
	○	a	フィルタ	サクシオンフィルタ ラインフィルタ		中	E	E	E	電気式検知のものについては、「フィルタ目詰り」の表示ランプが点灯しないこと。直読式のものについては、フィルタ目詰りを示すインジケータの針が目詰りゾーンに位置していないこと。			
	b	アキュムレータ	ガス漏れ	○	前		M	(地)	M	ガス封入圧力が規定値にあること。またガス封入口付近からのガス漏れがないこと。			
			配管接続部からの漏れ		前	E	E	(地)	E	配管接続部からの油の漏れがないこと。			
			アキュムレータへの圧油チャージ作動の確認		中		M		M	アキュムレータ内圧力低下信号により、ポンプが起動し、アキュムレータ内に圧油が送り込まれ、所定の圧力まで上昇したら昇圧信号によりポンプが停止すること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置							
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8	備考		
装置区分	*1 重要機器	*2 機能上著しく影響度に対する	項目	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期				不定期	
						管理運転	年点検			*6 臨時	総合
								基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎		
油圧配管	○	配管部	管継手部の漏油(フランジ、ニップル、ユニオン、ソケットなど)	前，後	E	E	(地)	E	ウェスで清掃して、新たに油がにじみ出ないこと		
			管溶接部の割れ(フランジ、ソケット管固定部など)	前	E	E	(地)	E	割れがないこと。		
			配管の割れ	前	E	E	(地)	E	割れがないこと。		
			管汚れ	前		E		E	管の汚れがないこと。		
			塗装	前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
			フレキシブルチューブの劣化	前		E	(地)	E	表面劣化(割れなど)のないこと。継手部に漏油のないこと。		
			バルブ不具合	前		D		D	ハンドルの回転などが正常であること。		
	配管接続部	b	ボルトナットのゆるみ	前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。		
		a	油漏れ	前	E	E	(地)	E	油漏れがないこと。		
	配管固定部	b	管固定部のゆるみ	前		H	(地)	H	配管の振動，ねじのゆるみなどがないこと。		
	配管周辺	c	ピット内汚れ	前		E		E	塵芥の堆積のないこと。		
		c	ピット内水溜り	前		E		E	水たまりのないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		開閉装置形式		油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能		点検・整備		点検 *3				*8 判定	備考				
装置区分	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期			
							管 理 運 転			年 点 検	*6 臨 時	総 合	判定方法
								基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎				
作動油	○	a	作動油	作動油の分析	○	後		M		M	色，粘度変化率，全酸化，水分，汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと。		
保護装置	○	a	制限開閉器	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E	E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E	E	(地)	E	損傷がないこと。		
	○	a	リミットスイッチ	作動状況		中	E	D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
開度計		b	電気式開度計 (直接検出式)	開度指示		中		E	(地)	E	ゲート全閉時に開度表示が全閉を表示していること。		
埋設部		b	アンカ部の コンクリート	ひび、割れの有無		前		E	(地)	E	ひび、割れないこと		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 度 合 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
全 般	b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E	E		E	ひどい汚れ，ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ，腐食がないこと。			
			破損		前	E	E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。			
			塗装状況		前		E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。			
			内部温度・湿度状態		前		E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。			
			絶縁抵抗	○	断		M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い，1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ		前		E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。			
			変色		前		E	(地) (雷)	E	変色がないこと。			
			端子のゆるみ		断		E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。			
			異常音		中		S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。			
	計器類	b	電流計	電流値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前		E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E	M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が，±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備		点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期				
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時			総 合	判 定 方 法
リ レ ー 類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D	D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S	D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E	E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
ス イ ッ チ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E	D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中		M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはPLCの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前		E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常(要処置(保全整備))
-：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|

施設名				機側操作盤									
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3								*8 判定	備考
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期		判定方法		
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中		D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整, スパン調整および動作確認(精度確認)		前		D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し、±1.0%F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
表示灯		b	表示灯	ランプテスト		前		D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。		
		c	盤内蛍光灯	点灯, 球切れ		前		D	(地) (雷)	D	点灯すること。		
指示計		b	開度指示計	指示		中		D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程(または発信器)と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。		
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D	D	(地) (雷)	D	異常なく作動すること。		
		a		異常音		前	S	D, S	(地) (雷)	D, S	異常音, 振動がないこと。		
		a		接点		前		D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。		
		b	漏電継電器	作動テスト		中		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	待機系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		機側操作盤											
設備に要求される機能													
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 機 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不 定 期			判定方法	
							管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
							基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎					
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断		E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断		E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
	b	端子台	腐食		断		E		E	発錆がないこと。			
	c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前		E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。			
その他	b	避雷器	ランプテスト		前		E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。			
	b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前		D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。			
配管	b	配管	配管状態		前		E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。			

設備区分： レベルⅡ
稼働形態： 常用系設備

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期		判定方法	判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能 影響 度 に 対 す る					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	c	清掃状態	汚れ	前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。				
			ごみ，流木，土砂等	前	E		E	(洪)	E	ごみ，流木，土砂等がないこと。				
	a	外観	変形，損傷	前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。				
	b	塗装	損傷	前			E		E	損傷がないこと。				
			劣化	前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
扉体	a	構造全体	振動	中	H		H		M	異常振動がないこと。				
			異常音	中	S		S		S	異常音がないこと。				
			片吊り	前			E	(地)	M	異常な傾き（片吊り）がないこと。				
	○	スキンプレート	変形	前			E		E	変形がないこと。				
			損傷	前	E		E		E	損傷がないこと。				
			板厚の減少	前					M	測定結果により判定のこと。				
			腐食(孔食)	前			E		E	腐食(孔食)がないこと。				

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- *1 重要機器・・・○
- *2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c
- *3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解
- *4 トレンド管理をする必要がある・・・○
- *5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水
- *6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)
- *8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				扉体				
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期		不定期		判定方法	判定	備 考	
	*1 重要機器	*2 影 響 能 力 対 する 合					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
扉体	○	a	主桁，補助桁	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		板厚の減少		前					M	測定結果により判定のこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		b		溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。		
	○	a	シリンダ接続部，軸	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	正常に回転すること。		
	c	スポイラ	変形		前			E		E	変形がないこと。			
	c		損傷		前			E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合
扉体		b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地) (洪)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。		
		b		損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
支承部	○	a	ヒンジ部ボス，軸	摩耗		前					M	摩耗がないこと。		
		a		損傷		前			E	(地)	E	損傷がないこと。		
		b		腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。		
		a		給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。		
		a		回転状況		中	D		D		D	D	正常に回転すること	

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|--|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				扉体				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
水密部	b	水密ゴム	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前			E		E	劣化がないこと。			
			漏水		有水			E		E	機能に支障がないこと。			
	b	ゴム押え板	変形		前			E		E	変形がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影機 響能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全般	b	清掃状態	汚れ		前	E		E		E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。			
			ごみ，流木，土砂等		前	E		E	(洪)	E	戸溝内にごみ，流木，土砂等がないこと。			
	a	外観	変形，損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。			
	b	塗装	損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			劣化		前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。			
支承部	○	ヒンジ軸受	摩耗		前			E		M	摩耗がないこと。			
			損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			給油状態		前			E		E	油が供給されていること。油の劣化がないこと。			
			回転状況		中	D		D		D	正常に回転すること。			
	b	ボルト，ナット	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみ，脱落がないこと。			
			損傷		前			E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		ゲート形式				起伏ゲート				戸当り				
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
埋 設 部	b	底部戸当り	変形		無水			E		E	変形がないこと。			
			損傷		無水			E		E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		無水			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		無水			E		E	割れがないこと。			
	b	側部戸当り	変形		前			E	(地) (洪)	E	変形がないこと。			
			損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			腐食(孔食)		前			E		E	腐食(孔食)がないこと。			
			溶接部の割れ		前			E		E	割れがないこと。			
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前			E	(地) (洪)	E	損傷がないこと。			
			コンクリートの漏水		有水			E	(地) (洪)	E	機能に支障がないこと			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合	
															基本周期 2ヶ月毎
油 圧 シ リ ン ダ		c	清掃状態	汚れ		前	E		E		E	ひどい汚れ，油等の付着がないこと。			
		b	外観	変形，損傷		前	E		E	(地) (洪)	E	損傷，変形がないこと。			
		c	全般	水滴の付着		前	E		E		E	水滴が付着していないこと。			
		b		塗装状態		前		E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。				
		b		スティックスリップ、ビビリ等の振動、異常音		中		S, H	(地)	S, H	異常音，異常振動がないこと。				
		b	ピストンロッド	すべり面(メッキ)の損傷		前		E		E		E	損傷がないこと。		
		b		ロッド部の発錆		前		E		E		E	発錆がないこと。		
		a		ロッドパッキン部の油漏れ		前，後	E		E	(地)	E		E	油漏れのないこと。	
		a		曲り		前		E, M		E, M		E, M	目視で曲りが生じていないこと。		
		b	キャップ，ヘッドカバー	ボルトナットのゆるみ		前		H	(地)	H		H	ゆるみがないこと。		
		b		油漏れ		前，後	E		E	(地)	E		E	油漏れがないこと。	
		○	a	ピストンパッキン	扉体のずれ落ち量(内部油漏れ)	○	中		M		M		M	扉体のずれ落ち量が規定値以下であること。	

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影 響 能 度 対 する					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
油圧シリンダ	○	b	軸受部	給油状態		前			E		E	古い油が排出されていること。		
		b		ボルトナットのゆるみ		前			H	(地)	H	ゆるみがないこと。		
		a		回転状態		中			S	(地)	S	異常音がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷のないこと。		
油圧シリンダ架台	○	b	アンカボルト	ゆるみ		前			H	(地)	H	ねじのゆるみなどがいないこと。		
		b		曲り		前			H	(地)	H	曲りなども変形がないこと。		
		b		損傷		前			H	(地)	H	亀裂，割れなどの損傷などがいないこと。		
	○	a	梁，桁	曲り		前	E		E	(地)	E	曲りなども変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	亀裂，割れなどの損傷などがいないこと。		
		b		振動		中			H	(地)	H	異常振動のないこと		

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影機能に 度合 に対する					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
油 圧 ユ ニ ッ ト	○	c	油圧ユニットの内外面	内外面の汚れ		前	E		E		E	水滴，ほこりの付着がないこと。		
		c		塗装の状態		前			E		E	発錆，ふくれ，亀裂，はく離，変退色，白亜化がないこと。		
		c		銘板類の損傷		前			E	(地)		E	脱落，汚損がないこと。	
	○	a	油タンク	油圧ユニット設置床面油漏れ		前，後	E		E	(地)	E	油溜りや油が滴下した形跡がないこと。		
				油タンク上面油漏れ		前，後			E	(地)	E	油溜りがないこと。		
				油面	○	前	E		E	(地)	E	油面計に印された正常な範囲にあること。		
				水抜き		休			E		E	油中に水分が混入していないこと。		
				油温		中	E		M	(地)	M	通常の開閉運転による作動油の温度上昇が規定値以下であること。		
	○	a	油タンク付属品	取付け部油漏れ		前	E		E	(地)	E	油面計取付け部，ドレンバルブ，マンホール蓋取付け部からの油漏れがないこと。		
				エヤブリーザ		前			W		W	フィルタにゴミつまり，発錆等がなく清浄であること。		
				油面検出スイッチ		前			D	(地)	D	検出スイッチの作動が正常であること。油面検出部に付着物や発錆がないこと。		
				油タンク内の清掃状況		前					W	油タンク内面及びタンク内取付品には，発錆や付着物がなく清浄な状態にあること。		

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり …… a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|---|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3						*8	備考				
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法	判定		
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検					*6 臨 時	総 合
油 圧 ユ ニ ツ ト		b	油タンク付属品	端子箱		前			E	(雷)	E	端子箱の内部に水分やほこり等の付着がないこと。端子箱内面や結線部が錆付いていないこと。端子接続部にゆるみを生じていないこと。			
		a		絶縁抵抗		○	前		M	(雷)	M	各電気機器，結線について絶縁抵抗試験を行い，規定値以上の抵抗値を有することを確認すること。			
	○	a	電動機	油圧ポンプとの芯出し			前			S	(地)	S	取付ボルト・ナットにゆるみがなく、異常音、振動等の異常が認められないこと。		
		b		取付ボルトの締付け			前			H	(地)	H	ゆるみがないこと。		
		a		軸受部の騒音			中			S	(地)	S	異常音がないこと。		
		a		軸受部の発熱			中			M	(地)	M	発熱が許容値以下であること。		
		b		電流値		○	中			M	(地)	M	設計圧力オンロード時の電流値が定格電流以下であること。		
		b		電圧値		○	中			M	(地)	M	作動時の電圧降下が±10%以下であること。		
		a		絶縁抵抗		○	前			M	(地) (雷)	M	絶縁抵抗計にて測定を行い、1MΩ以上		
		b		端子箱の点検			前			E	(雷)	E	端子接続部にゆるみがないこと。端子箱内に結露，錆付き等がないこと。		

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					*6 臨 時	総 合
						運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	基本周期 2ヶ月毎					
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	c	軸継手 (チェンカップリン グ)	カバーの取付け状況	前			E		E	取付ボルトにゆるみがないこと。			
		a		カップリングの異常音	中	S		S	(地)	S	異常音がないこと。			
		a		カップリングの振動	中			E, H	(地)	E, H	異常振動がないこと。			
		b		給油状況	前			W		W	カバー内にグリースが充填されていること。			
		a		チェンの取付け状況	前			W		W	チェンは確実に取付けられていること。			
		a		チェンの異常摩耗の有無	前			W		W	チェン，チェン歯車に異常摩耗が生じていないこと。			
	○	a	油圧ポンプ	吐出圧力	中	D		D	(地)	D	油圧ポンプオンロードにより規定圧力まで昇圧すること。			
		a		異常音	中	S		S	(地)	S	異常音がないこと。			
		a		異常振動	中			E, H	(地)	E, H	異常振動がないこと。			
		a		発熱	○	中		M	(地)	M	ポンプ表面温度と油圧ポンプ運転時の吸い込み作動油との温度差が許容値以下であること。			
	b		ポンプ取付ボルト 配管フランジ取付ボルト	前			E, H	(地)	E, H	ゆるみが生じていないこと。				

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視, M：測定, H：触診・指触
S：聴診・聴覚, D：動作確認, W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前, 中, 後, 休, 断
有水, 無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8	備考		
	*1 重要 機器	*2 影機 響能 度 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	判定
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				
						基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎							
油 圧 ユ ニ ッ ト	○	a	圧力制御弁	主回路リリーフ弁		中	D		D	(地)	D	昇圧しない、圧力が不安定で変動する、応答性が悪い、異常音、振動の発生等の不具合現象が生じないこと。		
		a		油圧シリンダヘッド側回路リリーフ弁(または減圧弁)		中			D	(地)	D	ゲート運転中、油圧シリンダの閉側圧力がヘッド側リリーフ弁(または減圧弁)の設定圧力以上に昇圧しないこと。閉側圧力が不安定で変動したり、異常音や振動の発生がないこと。		
	○	a	方向制御弁	ゲート開閉方向制御弁		中	D		D	(地)	D	「開運転」「閉運転」押釦により方向制御弁が正常に切り替わること。		
		a		主回路リリーフ弁の切換弁(アンロード回路付の場合)		中	E, D		E, D	(地)	E, D	ポンプ起動後、一定時間経過の後切換弁が正常に作動し、昇圧すること。		
		a		アキュムレータ回路切換弁(アキュムレータ付の場合)		中			D	(地)	D	電氣的信号によりアキュムレータ回路の切換弁が正常に作動しアキュムレータが on・off状態になること。		
		a		発熱		中			M	(地)	M	切換時、あるいは切換後ソレノイド(電磁石)部分が100℃以上の高温にならないこと。		
a	騒音		中	S		S	(地)	S	切換時、あるいは切換後ソレノイド(電磁石)部分から、うなり音を生じないこと。					

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置											
設備に要求される機能																	
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定	備考						
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期			判定方法					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合			
						基本周期 2ヶ月毎	基本周期 1年毎										
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	a	パイロット チェックバルブ	運転時の開放状態		中			D		D	規定の圧力値でバルブが正常に作動すること。					
		a		ゲート中間開度保持の ずり落ち		○	断				M	(地)	M	中間開度停止時の、ゲートずり落ち量が許容値以下であること。			
		a		チャタリング現象の有無			中					S		S	運転中、パイロットチェックバルブが開、閉を繰り返し(チャタリング現象)、激しい騒音、振動を伴う現象を生じないこと。		
	○	a	逆止弁	ポンプ吐出ライン			中					D		D	バルブが正常に作動すること。		
		a		サクシヨンライン			中					S	(地)	S	ゲート自重下降時サクシヨンラインからの吸込みが正常であること。ポンプ運転による閉運転時サクシヨンラインから油がタンクに戻らないこと。		
	○	a	流量調整弁	作動状態			中					E	(地)	D	開閉速度が規定の範囲に制御されており、大幅な変化が認められないこと。		
		b		設定目盛り			前					E	(地)	M	設定目盛りに変化がないこと。		
	○	a	圧力スイッチ	作動状態			中					E, D	(地)	E, D	スイッチが設定圧力で正常に作動すること。		
		a		配管接続部からの油漏れ			前	E				E	(地)	E	配管接続部からの油の漏れがないこと。		
		b		内部状態			前					E		E	端子接続部の締め付けが十分に内部に結露、発錆等がないこと。		

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置									
設備に要求される機能															
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8	備考			
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不定期			判定方法	判定	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時					総 合
油 圧 ユ ニ ツ ト	○	b	圧力計	内部の結露		前			E		E	圧力計の内部に水滴の付着やくもりを生じていないこと。			
		b		指針の振れ		中			E	(地)	E	運転中圧力計の針が激しく振れないこと。零点表示の確認。			
		a		ポンプ圧力計		○	中	E		E	(地)	E	油圧ポンプオンロードにより正常にリリースバルブ設定圧力を指示すること。		
		a		油圧シリンダ開側、閉側圧力計		中			E	(地)	E	ゲート閉閉運転時、油圧シリンダの開側、閉側圧力が従来の運転時に比較し、大きく変動しないこと。			
	○	a	フィルタ	サクシオンフィルタ ラインフィルタ		中	E		E	E	電気式検知のものについては、「フィルタ目詰り」の表示ランプが点灯しないこと。直読式のものについては、フィルタ目詰りを示すインジケータの針が目詰りゾーンに位置していないこと。				
	○	b	アキュムレータ	ガス漏れ		○	前			M	(地)	M	ガス封入圧力が規定値にあること。またガス封入口近からのガス漏れがないこと。		
		b		配管接続部からの漏れ		前	E			E	(地)	E	配管接続部からの油の漏れがないこと。		
		b		アキュムレータへの圧油チャージ作動の確認		中			M		M	アキュムレータ内圧力低下信号により、ポンプが起動し、アキュムレータ内に圧油が送り込まれ、所定の圧力まで上昇したら昇圧信号によりポンプが停止すること。			

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能		点 検 *3								*8				
装置区分	点検・整備		項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定 期			不定期		判定方法	判定	備 考
	*1 重要機器	*2 影機能に 度合 に対する					運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時	総 合			
油 圧 配 管	○	配管部	管継手部の漏油(フランジ、ニップル、ユニオン、ソケットなど)	前，後	E	E	(地)	E	ウェスで清掃して、新たに油がにじみ出ないこと					
			管溶接部の割れ(フランジ、ソケット管固定部など)	前	E	E	(地)	E	割れないこと。					
			配管の割れ	前	E	E	(地)	E	割れないこと。					
			管汚れ	前		E		E	管の汚れがないこと。					
			塗装	前		E		E	発錆、ふくれ、亀裂、はく離、変退色、白亜化がないこと。					
			フレキシブルチューブの劣化	前		E	(地)	E	表面劣化(割れなど)のないこと。継手部に漏油のないこと。					
			バルブ不具合	前		D		D	ハンドルの回転などが正常であること。					
		配管接続部	ボルトナットのゆるみ	前		H	(地)	H	ゆるみがないこと。					
			油漏れ	前	E	E	(地)	E	油漏れがないこと。					
		配管固定部	管固定部のゆるみ	前		H	(地)	H	配管の振動、ねじのゆるみなどがないこと。					
		配管周辺	ピット内汚れ	前		E		E	塵芥の堆積のないこと。					
			ピット内水溜り	前		E		E	水たまりのないこと。					

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|

施設名		開閉装置形式				油圧シリンダ式開閉装置								
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
作動油	○	a	作動油	作動油の分析	○	後			M		M	色，粘度変化率，全酸化，水分，汚染度等が基準に定められた許容値を超えないこと。		
保護装置	○	a	制限開閉器	作動状況		中	E		D	(雷)	D	設定値にて正常に作動すること。		
		a		変形		前	E		E	(地)	E	変形がないこと。		
		a		損傷		前	E		E	(地)	E	損傷がないこと。		
開度計		b	電気式開度計 (直接検出式)	開度指示		中			E	(地)	E	ゲート全閉時に開度表示が全閉を表示していること。		
埋設部		b	アンカ部の コンクリート	ひび、割れの有無		前			E	(地)	E	ひび、割れないこと		

注)常用系設備でかつ油圧シリンダ式開閉装置に予備機(電動機、油圧ポンプ、バルブ類等)が設置されている場合、予備機については管理運転を実施し機能を確認する。

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …………… b
機能上影響なし …………… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 …… 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う …… ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|--|--|

施設名												機側操作盤		
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期				判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
全 般	b	盤全般	清掃・塗装状態	前	E		E		E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ、腐食がないこと。				
			破損	前	E		E		E	破損がないこと。施錠が完全であること。				
			塗装状況	前			E		E	鋼板表面に塗膜の剥れおよび腐食がないこと。				
			内部温度・湿度状態	前			E, H		E, H	乾燥していること。また異常高温になっていないこと。				
			絶縁抵抗	○	断			M	(雷)	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。			
	b	機器，計器類共通	汚れ	前			E	(地) (雷)	E	汚れがないこと。				
			変色	前			E	(地) (雷)	E	変色がないこと。				
			端子のゆるみ	断			E, H	(地) (雷)	E, H	端子のゆるみがないこと。				
			異常音	中			S	(地) (雷)	S	異常音がないこと。				
	計 器 類	b	電流計	電流値	○	中	E		M	(地) (雷)	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。		
0点確認					前			E		E	ゲート停止時に0点を指していること。			
b		電圧計	電圧値	○	中	E		M	(地) (雷)	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。			

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|

施設名		機側操作盤												
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							判定方法	判定	備考	
	*1 重要機器	*2 機能影響度に対する	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期		不定期					
							運転時点検	管理運転	年点検	*6 臨時				総合
リレー類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D		D, S, E	(地) (雷)	D, S, E	異常音，振動がないこと。		
		a		異常音		中	S		D, S, H	(地) (雷)	D, S	異常音がないこと。		
	○	a	3Eリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
				設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。		
	○	a	サーマルリレー	作動テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		
○	a	タイマー	設定値確認		前	E		E	(地) (雷)	E	図面通りの設定値であること。			
スイッチ	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	開，閉，停が的確に作動すること。		
	○	a	切換スイッチ	作動テスト		中	D, E		D, E	(地) (雷)	D, E	的確に作動すること。		
P L C	○	a	電源ユニット	電源端子部の電圧確認		中			M	(地) (雷)	M	メーカー推奨範囲以内であること。		
	○	a	バッテリー	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。またはP L Cの自己診断機能によりバッテリー電圧低下している場合は交換すること。		
	○	a	ヒューズ	使用年数の確認		前			E	(地) (雷)	E	前回の交換時期より5年経過していないこと。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | |
|--|--|---|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし
塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|--|---|

施設名		機側操作盤												
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3						判定方法	判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期		不定期					
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検				*6 臨 時	総 合
P L C	○	a	入力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	出力ユニット	作動テスト		中			D, E	(地) (雷)	D, E	ゲートを全閉～全開まで操作し、問題なく動作すること。		
	○	a	アナログユニット	零点調整，スパン調整および動作確認（精度確認）		前			D, E, M	(地) (雷)	D, E, M	校正器により測定し，±1.0%F.S.以内であること。		
	○	a	ネットワークユニット	通信テスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	通信状態が正常であること。通信エラーランプが点灯していないこと。		
表 示 灯		b	表示灯	ランプテスト		前			D, E	(地) (雷)	D, E	点灯すること。		
		c	盤内蛍光灯	点灯，球切れ		前			D	(地) (雷)	D	点灯すること。		
指 示 計		b	開度指示計	指示		中			D, E, M	(地)	D, E, M	実際揚程（または発信器）と指示値が合致していること。セルシン式は発信器の指示値に応動していること。		
開 閉 器 類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D		D	(地) (雷)	D	異常なく動作すること。		
		異常音			前	S		D, S	(地) (雷)	D, S	異常音，振動がないこと。			
		接点			前			D, E	(地) (雷)	D, E	接点に変色がないこと。接点溶着がないこと。			
		b	漏電継電器	作動テスト		中			D	(地) (雷)	D	テストボタンを押して作動すること。		

点検記録表

設備区分	レベルⅡ	稼動形態	常用系設備
点検区分		実施日	平成 年 月 日

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <p>*1 重要機器・・・○</p> <p>*2 機能上著しく影響あり … a
機能上影響あり …… b
機能上影響なし …… c</p> <p>*3 点検 E：目視，M：測定，H：触診・指触
S：聴診・聴覚，D：動作確認，W：分解</p> | <p>*4 トレンド管理をする必要がある・・・○</p> <p>*5 点検条件 … 前，中，後，休，断
有水，無水</p> | <p>*6 臨時点検 全て行う … ○
地震時のみ…(地)
落雷時のみ…(雷)
洪水時のみ…(洪)</p> | <p>*8 G：良好あるいは異常なし
N：異常（要処置（保全整備））
－：内容の実施なし</p> <p>塗装劣化に関しては、総合的評価結果から対策の必要なものをNとし、必要に応じて計測記録を残す。</p> |
|--|---|---|--|

施設名												機側操作盤		
設備に要求される機能														
装置区分	点検・整備			点 検 *3							*8 判定	備考		
	*1 重要 機器	*2 影 響 能 力 に 対 す る	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定 期			不 定 期			判定方法	
							運 転 時 点 検	管 理 運 転	年 点 検	*6 臨 時				総 合
配線	○	a	盤内配線	配線状態		断			E	(地) (雷)	E	損傷がないこと。断線していないこと。		
		a		端子のゆるみ，脱落		断			E, H	(地)	E, H	断線がないこと。ゆるみがないこと。		
		b	端子台	腐食		断			E		E	発錆がないこと。		
		c	端子台取付ボルト	ゆるみ，脱落		前			E, H	(地)	E, H	ゆるみがないこと。		
その他		b	避雷器	ランプテスト		前			E, H	(地) (雷)	E, H	正常に点灯すること，ヒューズが溶断していないこと。		
		b	スペースヒータ (サーモスイッチ)	作動テスト		前			D	(地) (雷)	D	サーモスイッチの設定を変更し，外気温度でスイッチが入れば正常である。この状態でしばらく放置し動作を確認すること。		
配管		b	配管	配管状態		前			E	(地)	E	ひび割れ，腐食，止め具のゆるみ，脱落等がないこと。		